

二 日中諸案件交渉

1 一般問題

150 昭和11年1月7日 在中国有吉大使より
広田外務大臣宛(電報)

抗日学生運動が表面鎮静化する一方で反政府
氣運が高まりを示していることを蔣介石が苦
慮し対策検討中との情報について

上海 1月7日夜発
本省 1月7日夜着

第四號

七日王長春ハ館員ニ對シ當地學生運動ハ表面漸ク平靜ニ歸
シタルカ學生間ノ中央ニ對スル反對氣運ハ却テ内面的ニ漸
次濃厚トナリツツアル狀態ニシテ蔣介石ハ之ヲ苦ニシ曩ニ
市社會局長吳醒亞、教育局長潘公展、公安局長蔡君軍等ヲ
南京ニ招致シ當地ニ於ケル學生運動ノ狀況等ヲ親シク聽取
セルカ(何レモ三日赴寧セリ)更ニ六日蔣來滬ノ節モ汪精衛

ノ病氣見舞ナリト稱シ居タルカ極秘裡ニ黨部關係者及各大
學校長等ヲ自邸ニ招致シ中央ノ立場ヲ説明シタル上今後ニ
於ケル學生運動取締ニ努力方種々懇談セル旨内話セル趣ナ
リ(出所極秘)

151 昭和11年1月7日 在南京松村總領事代理より
広田外務大臣宛(電報)

本邦商社よりの鐵道材料購入に曾養甫鐵道部
政務次長が極端な反対を唱えているとの同部
財務司長の内話について

南京 1月7日夜発
本省 1月7日夜着

第八號

客年往電第一四七三號ノ三ニ關シ

七日館員ヨリ張競立ニ對シ隴海線機關車ハ最低値ヲ出セル
我方商社ニ落札サルヘキモノナル旨申入レタル處張ハ極秘

ノ含ヲ以テ實ハ平漢線鐵橋ヲ三井ニ落札方研究ノ際モ曾養
甫カ極力反對シ部長ヨリ入札ニヨリタルモノナレハ最低値
ヲ出セルモノニ落札スルコト當然ナル旨主張セルニ對シ然

ラハ今後ハ入札ニ依ラスシテ外國商社ヨリ購入セハ可ナル
ニアラスヤト迄極論セル程ナリ曾ハ黃紹竑ヨリ敬遠セラレ
蔣介石ニ拾上ケラレテ鐵道部次長ニ据ヘラレタル次第ナレ
ハ張公權トノ折合モ必スシモ宜シカラス又曾ハ今回購料委
員會主任ヲモ兼ヌルコトナリタルニ付テハ(李法端ハ委
員トナレリ)本件決定モ簡單ニハ行カサルヘシト内話セル
ニ付館員ヨリ部長トモ連絡ノ上公正妥當ナル決定ヲ行ハレ
度キ旨念ヲ押シ置ケル趣ナリ

編注 電報番号は誤りと思われる。

152 昭和11年1月10日 在南京松村總領事代理より
広田外務大臣宛(電報)

和知武官の太原派駐に關し領事館すらない同
地での武官駐在は不都合として外交部が阻止
方申越しについて

第八號

南京 1月10日夜発
本省 1月10日夜着

十日外交部係官部長ノ命ニ依ル趣ヲ以テ本官ヲ來訪シ最近
和知中佐ハ部下五名ヲ率ヒ太原ニ駐在スル趣報告ニ接シタ
ル處領事館スラナキ同地ニ武官ノ駐在スルハ諸般ノ關係上
誤解ヲ生シ面白カラサルニ付阻止方取計ハレ度シト申出テ
タルニ依リ本官ヨリ何等正式ニハ承知シ居ラサルモ右ハ最
近北支ノ實狀ニ鑑ミ聯絡其ノ他ノ便宜ニ資セントスルモノ
ナルヘク却テ誤解ヲ避クルノ益アル次第ナリト輕ク突撥ネ
置キタリ(兩宮武官ヨリハ本件ニ付目下軍側ト閻錫山間ニ
交渉中ナル旨通報ニ接シ居タリ)

尙本件ニ付テハ昭和八年支宛貴電第二二三號ノ次第モアリ
更ニ先方ヨリ督促シ來ラサル限り其ノ儘トシ置ク所存ナリ
支、北平、在支各總領事、厦門へ轉電セリ
支ヨリ上海へ轉報アリタシ

153 昭和11年1月10日 在広東河相總領事より
広田外務大臣宛(電報)

抗日を提唱する中山大学の学生デモにつき報告

広 東 1月10日夜発
本 省 1月10日夜着

第七號

往電第五號ニ關シ

其ノ後判明セル所ニ依レハ

中山大學全体學生ハ七日一箇月ノ休校ヲ決議シ宣傳隊ヲ組織セルモノニシテ鄒校長領導ノ下ニ九日宣誓ヲ行ヒ合計二百隊ヲ編成シ(各隊十人乃至二十人)本日夫々分割出發スルコトナレルカ各省宣傳隊ハ湖南、廣西、四川、江西、浙江ノ五省及海南島ニ向フモノニシテ學校當局ヨリ省政府ヲ經テ右各省ニ便宜供與方ヲ請願セリ尙殘部學生ハ

- (イ)本市各校ト聯絡シ各校ノ抗日會組織ヲ速成ス
- (ロ)近郊鄉村ニ宣傳ヲ行フ
- (ハ)民衆ノ抗日會組織ヲ促ス
- (ニ)男子ハ軍事女子ハ看護ノ訓練ヲ受ク
- (ホ)劣。貨ヲ蒐集シテ展覽會ヲ開ク
- 等ノ工作ニ從事スル趣ナリ

尙昨日ノ第三次學生ノ示威游行ノ口號ニハ前電ノ外

- (イ)抗日行動ノ自由ヲ奪取セヨ
- (ロ)對日交戦ヲ實行セヨ
- (ハ)自動的ニ抗日會ヲ組織セヨ

(ニ)一切ノ走狗官僚配下ノ抗日團體ヲ打倒セヨ
等ノ注目スヘキモノアリ從來ニ比シ一步ヲ進メタルモノト云フヘシ

支、北平、在支各總領事ヘ轉電シ香港ヘ暗送セリ
支ヨリ上海ヘ轉報アリタシ

154 昭和11年1月14日 在福州中村(豊一)總領事より
広田外務大臣宛(電報)

上海などから帰郷した学生による華北自治反對運動は福州では組織的運動に發展してない旨報告

福 州 1月14日後発
本 省 1月14日夜着

第五號

客年往電第一六二號ニ關シ

嚴重取締方要求について

汕 頭 1月14日後発
本 省 1月14日夜着

第五號

其ノ後上海、南京方面ニ於テ學生運動ノ氣勢ヲ殺クヘク冬期休暇ヲ繰上ケタル爲既ニ當地ニ歸來セル學生百數十名ニ達セル趣ナル處是等ノ學生中ノ復旦大學學生三名ハ華北自治反對運動ヲ起スヘク去ル十一日當地各界代表四、五十名ヲ招待シ會合ヲ催シタルモ未タ左シタル反響ヲ見ス又公安局長ハ豫テ本官ヨリノ注意ニ基キ代表者ニ説諭ヲ加フルト共ニ新聞關係者ニモ記事ノ取扱ヲ慎重ニスヘキ様注意シタル結果今ノ所當地ニ於テハ游行又ハ組織的運動發生シ居ラサルモ前記招待會ニ於テハ華北問題ニ關スル外外貨ヲ排斥シテ國貨ヲ提唱シ居ル點ハ注目ニ値スヘク學生等ハ地方ニ分散シ運動ヲ行ハントスル傾向アリ中央方面ノ休暇繰上ケハ却テ學生運動ヲ地方ニ浸潤セシムル結果ヲ招來セスヤト懸念セラルル筋アリ成行注視中

支、北平、在支各總領事、厦門ヘ轉電セリ

支ヨリ上海ヘ廣東ヨリ香港ヘ夫々轉報アリタシ

155 昭和11年1月14日 在汕頭原田(忠一郎)領事より
広田外務大臣宛(電報)

抗日を提唱する学生デモに関し汕頭市当局に

(一)「中大院生工友抗日會擴大宣傳委員會」ハ十日ヨリ廣東ヲ振出ニ省内各縣ニ派員宣傳セシムルコトナリタル趣ノ處一行十六名ヨリ成ル宣傳員ハ十三日來汕同夜海濱。師範學校ニ於テ工作着手ノ打合ヲ爲シ先ツ「綏靖公署及市政府ニ對シ宣傳工作ニ付相當ノ保護供與方ヲ要求スル」旨ノ決議ヲ爲シ十四日朝學生彌次馬ヨリ成ル約千五百ノ群衆ハ蔣政權打倒、華北偽組織ノ撲滅及排日貨抗日ヲ強調セル傳單ヲ撒布シ「打倒日本帝國主義」ノ口號ヲ唱ヘ市中示威游行ヲ開始セリ

(二)右ニ關シテハ十三日不取敢口頭ヲ以テ市當局ニ嚴重取締方ヲ申入レ置キタルカ本朝更ニ市長ニ對シ彼等ノ激越ナル言動ニ依リ徒ニ感情ヲ刺戟シ邦人ニ危害ヲ及ホササル様至急最善ノ取締方法ヲ講シ外人保護ノ實ヲ示サレ度シト要請シタリ

(三)市長ハ曩ニ本官ノ注意喚起ニ基キ市内各學校ニ對シ舊止

月前ノ學期試験ヲ繰上ケ其ノ終了次第學生ニ歸省ヲ命シ置キタルカ十三日更ニ試験未了ノ者モ之ヲ中止シテ至急歸郷方ヲ令達シタルモ出發殘ノ者本朝ノ游行ニ引入レラレタル模様ニ付即日離汕スヘキ旨嚴達シ一方廣東派遣ノ宣傳隊ニ對シテハ憲兵隊及巡警ヲシテ游行ヲ監視セシメ國際問題ヲ惹起スル如キ言動ヲ禁スルコトトシ當方ノ要請ニ副フ様引續キ盡力スル積リナル旨申越セリ

(四) 今迄ノ所一般市内治安狀況變化ナキモ萬一ノ爲トテ公安局ハ特ニ數名ノ巡警ヲ日本小學校前ニ派遣シ警護ニ當リ居リ在留邦人ニ對シテハ冷靜ヲ保チ輕舉ヲ慎ミ事端ヲ醸シテ先方ニ口實ヲ與フルカ如キコトナキ様嚴達シ置ケリ

支、北平、南京、漢口、廣東、福州、厦門へ轉電シ香港、臺灣外事課長へ暗送セリ

支ヨリ上海へ轉報アリタシ

156 昭和11年1月14日 在広東河相總領事より
広田外務大臣宛(電報)

学生デモに対する広州全市戒嚴令の施行について

支、北平、在支各總領事、汕頭へ轉電シ香港へ暗送セリ

支ヨリ上海へ轉報アリタシ

157 昭和11年1月14日 在広東河相總領事より
広田外務大臣宛(電報)

広州全市戒嚴令施行に伴い、在留邦人の夜間外出等を差控えられたき旨、市政府当局より要請について

広 東 1月14日夜発
本 省 1月14日夜着

第一五號

往電第一四號ニ關シ

十四日市長ノ代理トシテ陳濟棠秘書梁植槐本官ヲ來訪シ戒嚴令實施ノ模様ヲ述ヘタル上夜間邦人ノ支那街外出ヲ出來得ル丈ケ遠慮ヲ願ヒ誤解ニ基ク事故ノ發生ヲ防止シ度キ旨述ヘタルカ其ノ際本官ヨリ今次ノ學生運動ハ既ニ甚シク惡化シ最近ハ對日經濟絶交ノ古看板ヲモ擔キ出シタルニ付貴方ニ於テ充分ノ取締ヲ加ヘラレサレハ或ハ日貨排斥運動ニ轉化スルヤモ知レステハ事ハ甚タ面倒トナルヘキニ付左

第一四號
往電第一三號ニ關シ

本十四日廣州全市戒嚴令施行サレ第一集團軍參謀長繆培南戒嚴司令官ヲ兼任ス戒嚴ノ理由トシ「近時學生結隊游行シ銃器ヲ携帶シ同學ヲ威嚇シ法規ニ違反シ事端ヲ發生セシメ十三日終ニ中山大學生等市民救國除奸團ト衝突シ市民數名ヲ殺傷スルニ至レリスノ如キハ實ニ越軌ノ行動ニ屬シ治安ヲ紊ス反動分子ノ爲地方擾亂ニ利用セラルル惧アリ」云々ト發表サレタルカ同時ニ戒嚴區域内ニ於ケル

(イ) 集會、結社、罷市、罷工、罷學ノ禁止

(ロ) 郵便、電報ノ検査、新聞、雜誌、圖書等ノ取締

(ハ) 銃器彈藥等危險物ノ私有、検査、沒收

等ヲ規定セル臨時戒嚴條令ヲ布告セリ

尙鄒魯ノ辭任電請ニ對シ中央教育部ハ十一日(附)ニテ「處分方電請ノ件ハ其ノ儀ニ及ハス」ト回電アリタルニ對シ鄒ハ十三日再辭任及處分ノ電請ヲ爲シタルカ同大學各院長モ校長ニ對シ連袂辭表ヲ提出セリ

広 東 1月14日夜発
本 省 1月14日夜着

158 昭和11年1月14日 在南京松村総領事代理より
広田外務大臣宛(電報)

中国各地の抗日学生運動に対し嚴重取締方外交部へ要求について

南 京 1月14日夜発
本 省 1月14日夜着

第一三號

客年往電第一四五四號ニ關シ

目下各地代表續々來寧シ居ル處爲念本十四日外交部係官ニ對シ廣東、宜昌、雲南等ニ於ケル學生運動ヲモ指摘シ此ノ上トモ嚴重取締方申入レタルニ對シ明十五日ノ聽訓ニ付テ

ハ何等事端ノ發生無キ様充分注意シ居リ各地ノ運動ニ付テモ此ノ上トモ誠意ヲ以テ取締ニ努ムヘキ旨回答アリタリ支、北平、在支各總領事、厦門へ轉電セリ
支ヨリ上海へ轉報アリ度シ

159 昭和11年1月14日 在中国武藤大使館一等書記官より
広田外務大臣宛(電報)

蔣介石による学生代表の南京招致は北平では
運動緩和に資するところなき旨報告

北平 1月14日夜発
本省 1月14日夜着

第二二號

蔣介石ノ訓示ヲ受クル爲招集セラレタル當地各學校教員及學生代表ハ十三日迄ニ大體南下ヲ見タルカ北平學生聯合會ハ最初ヨリ學生代表ノ派遣ニ絶對反對ヲ表明シ各學校ニ於テモ學生代表ノ選舉ヲ行フコトヲ肯セサル爲各學校當局ニ於テハ密ニ學生ヲ指定シテ南下セシメタル次第ナルカ各學校學生會ハ何レモ右代表ヲ否認シ精華大學救國委員會ノ如キハ新聞紙上ニ南下セル學生ハ全同窓ヲ裏切りタル攪亂者

ナルモノノ如ク且ツ學生抗日團ノ陳濟棠ニ對スル抗日請願中ニハ西南當局ハ須ク中央ト一致抗日ニ出ツヘシ云々ノ箇條アル處實ノ所ハ鄒魯自身ノ立案ノ由ニテ之ヲ知リタル陳濟棠ハ眞赤ニ憤慨シ茲ニ鄒魯追出シノ話實力派ノ間ニ盛上リタル由一方濟棠ノ「ブレイン、トラスト」ノ一人タル林翼中ハ政學兩方面ニ多大ノ勢力ヲ張り居リ中大校長ノ椅子ニ對シテモ之ヲ窺フコト既ニ久シク同大學學生ヲ手馴付ケ既ニ六割方ハ獲得シ居レリト傳ヘラル今日迄屢學生ヲ煽動シテ鄒魯排斥ヲ遣ラシタルコトアリ鄒魯ノ後金ニハ當然林ナルヘキ處林ハ大學出身ニアラス之ヲ以テ「ブレイン、トラスト」ノ筆頭タル陳維周ハ林ノ一味タル現教育廳長黃麟書ニ之ヲ讓ラシメタル由斯テ今次學潮ハ内政上ノ鬭爭ニ利用サレタル爲學生運動ニハ自ら一流派ヲ生シ「スローガン」ノ如キモ最初ハ抗日ノ一點張ナリシカ次テ打倒蔣介石又次テ打倒陳濟棠、打倒黃麟書等相撞着スルモノ飛出シ來レル譯ニテ往電第八號教育廳暴行事件(黃麟書ノ私宅モ同時ニ襲撃サル)ハ鄒魯一派ノ學生ノ主動ニ係ルモノノ如ク茲ニ於テ黃ハ一味ノ公安局長何肇ト相諮リ巡警等ヲ便衣ノ鋤奸團ニ仕立テ往電第一三號學生團ヲ射撃彈壓セシメタ

ナルヲ以テ全學生ノ意見ニ基キ嚴重ナル制裁ヲ加フトノ聲明ヲ發表シ居ル始末ニテ中央今次ノ代表招集ハ何等學生運動ノ緩和ニ資スル所無ク各學校トモ依然授業ヲ休止シ居リ
支、在支各總領事、香港、厦門、滿へ轉電セリ

160 昭和11年1月15日 在広東河相總領事より
広田外務大臣宛(電報)

學生運動の裏面にある西南当局の内部事情につき報告

広東 1月15日夜発
本省 1月15日夜着

第一六號

往電第一一號ニ關シ

目下當地學生間ニハ蔣介石ハ舉國一致抗日ノ決意ヲ固メタルモ西南實力派巨頭ハ五至大會ニモ出席セス中央トノ合体ノ實ヲ示ササル爲蔣ノ決心モ自然發動ニ由ナキニ至レルナリトノ流言行ハレ右ハテツキリ鄒魯一派ノ放送ノ如クニモ取ラレ居リ兎モ角右流言カ今次學潮ニ油ヲ注キタルハ事實

ルモノナルカ(死者四名ハ六名ノ誤リ男四、女二)敵ハ本能寺ニアリ一撃ヲ受ケタル鄒魯ハ一味ノ中大教授連ヲ動員シテ一連託生連袂辭職ヲ以テ陳濟棠ニ對シ「ストライキ」セシメタル次第ナルカ鄒ノ親分タル胡漢民今後ノ中央ニ於ケル地位次第ニテハ鄒魯モ中央ヲ幾分ニテモ笠ニ着ルコトヲ得ヘク一般ニハ鄒魯ノ追出ハ時ノ問題ト見ラレ居ルモ或ハ右様ニ簡單ニハ行カサルヤモ知レス尙鄒派ニ對シテハ九十九路軍系ヨリ運動資金五萬圓支出サレタルヤノ噂アリ因ニ政府ノ彈壓ノ爲香港ニ逃出シタル學生ハ既ニ一千名ニ上ル由新聞モ傳ヘ居リ學生ハ目下稍沈衰ノ狀態ナリ
支、北平、在支各總領事、厦門、汕頭へ轉電シ香港、暹、臺灣外事課長、雲南へ暗送セリ
支ヨリ上海へ轉報アリタシ

161 昭和11年1月24日 在南京須磨總領事より
広田外務大臣宛(電報)

九六公債の支払い開始要求に対する孔祥熙の冷淡な回答振りについて

付記 昭和十一年一月、作成局課不明

南京 1月24日前発
本省 1月24日前着

第四〇號

本二十三日會見ノ際本官ヨリ孔祥熙ニ對シ日支關係打開ノ爲空氣ヲ好轉セシメン見地ヨリ九六公債金部分ノ支拂ヲ開始セサト述ヘ昨年内田ヨリ話セル經緯ヲ説示セルニ孔ハ内田ヨリ外ニ話ハアリシナランモ自分ハ聞キ居ラス兎モ角他ヨリ大借款デモ成立セサル限り九六ノ如キ大物ノ解決ニハ當リ得スト恐シク冷淡ニ應酬セル爲本官ヨリ鹽餘及關餘ヲ擔保トセル本件債務ヲ顧ミサルハ不届ナル旨ヲ高調シタルニ孔ハ大連稅關ノ收入ヲ返スコトトシ之ニテ九六返還ニ當リテハ如何等ト言出セルニ依リ無誠意極マル應酬振ヲ詰リ今後執拗ニ本件解決ヲ迫ルヘキニ付具体案ヲ用意方強ク申入レ置ケリ

支ヘ轉電セリ

(付記)

最近ニ於ケル對支不確實債權整理

以上ハ中央政府ニ對スルモノ又ハ中央政府ノ保證又ハ承認セルモノニシテ關稅特別會議非公式會議ニ於テ我カ専門委員ヨリ提出セルモノニ屬ス

(イ)東亞興業ノ對南潯鐵道借款(十年五月)
本借款ハ元來南潯鐵路局ヲ債務者トスルモノニシテ前記會議ニ提出ナカリシモノナルモ大正十五年鐵道部カ本鐵道管理ヲナスニ際シ本借款ニ承認ヲ與ヘ又今回ノ整理案ニモ交通部ニ於テ調印セル關係モアリ現在ハ前者ト同様ニ取扱フコト適當ナリト信ス

(ロ)東亞興業ノ對南昌開明電燈公司借款(九年五月)
(ハ)台灣銀行ノ對廣東銀行借款(二〇)(九年五月)
(ニ)台灣銀行ノ對廣三鐵路局借款(九年五月)
(ホ)中日實業ノ對山東省實業借款(九年十二月)
(ヘ)東亞興業ノ對鄭州明遠電燈公司借款(十年一月)
(セ)東亞興業ノ對武昌竟成電燈公司借款(十年七月)
(シ)台灣銀行ノ對江西省及同省中國銀行借款(十年十一月)
右七者ハ中央政府ノ承認ナキ地方政府又ハ個人關係借款ニシテ之等ノ整理ニ付テハ中央政府ハ無關係ナル次第ナリ

右整理額合計(整理成立ノ際ニ於ケル元利合計高)ハ一億六

(昭和十一年一月)

一般的整理交渉ニ付テハ滿洲事變後モ引續キ隨時交渉シ居タルモ敢テ個別的整理ニ反對セス全般的整理交渉ノ副産物トシテ成功スル見込アルモノニ對シテハ個別的ニモ充分援助スヘキ方針ニ出テタル結果各種對支債權ニシテ日支間ニ整理案成リ債權ノ回收又ハ月賦拂ノ開始ヲ見タルモノ左ノ如シ(括弧内ハ整理案成立年月日)

- (イ)正金銀行ノ對駐日支那公使館借款(八年十二月)
- (ロ)東亞興業ノ對平綏鐵路局借款(九年四月)
- (ハ)台灣銀行ノ對廣東政府其ノ他借款三口(九年五月)
- (ニ)三井物産ノ對平綏鐵路局賣掛代金(九年七月)
- (ホ)〃 (中日名義)ノ對交通部武漢電話借款(九年十二月)
- (ヘ)古河住友關係(中日名義)對交通部債權五口(九年十二月)
- (ト)中日實業ノ對交通部電話擴充借款(九年十二月)
- (ヲ)東亞興業ノ對交通部有線電信借款(九年十二月)
- (リ)三井物産ノ對津浦鐵路局賣掛代金二口(十年三月)
- (ヌ)正金銀行引受ノ郵便部公債(十年五月)
- (ル)三井物産ノ對平漢鐵道賣掛代金(十年十二月)

千餘萬圓ニシテ整理案ニ基キ支那側債務者ノ本邦債權者ニ支拂フヘキ額ハ年六、七百萬圓ニ達スルコトナリタル處此ノ内中央政府ノ關係セルモノハ前記ノ如ク(イ)乃至(ル)ノ諸借款ニシテ整理額約一億三千萬圓餘ナリ右中央政府關係不確實借款ノ整理狀況ヲ概算表示スレハ左ノ如シ

(概算金額ハ原則トシテ昭和九年十一月現在ノ元利合計ニシテ各種債權ノ整理モ總テ同時ニ成立セルモノト假定セリ何レモ單位圓ナリ)

全債權		整理案成立セル分(整理直元利合計)		未整理分元利合計	
元利合計		前元利合計			
西原借款	四〇〇,〇〇〇,〇〇〇	〇	四〇〇,〇〇〇,〇〇〇		
財政部借款	一四〇,〇〇〇,〇〇〇	一〇,〇〇〇,〇〇〇	一三〇,〇〇〇,〇〇〇		
交通部借款	四七,〇〇〇,〇〇〇	四七,〇〇〇,〇〇〇	〇		
鐵道部借款	三,〇〇〇,〇〇〇	三,〇〇〇,〇〇〇	〇		
合計	六九〇,〇〇〇,〇〇〇	一三〇,〇〇〇,〇〇〇	五六〇,〇〇〇,〇〇〇		

右ニ依ルモ交通部及鐵道部關係借款ハ全部整理ヲ見タルニ對シ財政部關係ノモノニシテ整理案成立セルモノ極メテ少ク現在交渉中ノモノ三井物産ノ印刷局借款(七,〇〇〇,〇〇〇圓)、中日實業ノ漢口造紙廠借款(三,〇〇〇,〇〇〇圓)等アリ尙西原借

款ノ一ツタル交通銀行借款(五〇〇〇〇〇〇圓)モ整理交渉中ナリ更ニ財政部關係九六公債(五〇〇〇〇〇〇圓)ハ近ク交渉開始ノ手筈ナリ

162 昭和11年1月25日 在南京須磨總領事より
広田外務大臣宛(電報)

日本の出方によつては戦争も辞さないとの蔣介石による各地学生代表への訓示内容について

南京 1月25日後発
本省 1月25日夜着

第五〇號(極秘)

昨二十四日黃濬來訪ノ際極秘ノ含ニテ内話スル所ニ依レハ十五日蔣介石ハ勵志社ニ於テ各地學生代表ニ對シ三時間ニ亘リ訓示ヲ爲シタルカ最後ニ日本トノ關係ハ充分ノ決意ヲ以テ調整スルノ用意アリ昨年二回ニ亘ル北支問題ノ際ハ不幸江西、湖北、四川等ノ剿共事業ノ爲自ラ之ニ當リ得サリシ次第ナルカ今後ハ日本ノ出方ニ依リテハ一戰ヲモ辭セサル覺悟ヲ有ス唯事實上如何ナル對日戰備アルヤニ付テハ軍機ナレハ言明シ得サルモ充分信賴シテ可ナリト説明セル趣

キ次第ナリ

(二)理想トシテハ往年ノ順天時報ノ如ク我方トノ關係明カナルモノヲ發行シ之ヲ充分ナル基礎ノ下ニ發展セシムルコト望間數キモ之ニハ潤澤ナル資金ト優レタル經營者ト長年ノ努力トヲ必要トスル譯ニテ實際問題トシテ中々容易ノ業ニアラス

(三)然ル所或意味ニ於テ當代支那第一トモ稱セラルル當地大公報ハ總經理胡霖カ昨春渡日ノ結果現代日本ノ進歩發達振ニ悉ク兜ヲ脱キ歸來ト共ニ日本ニ對スル正シキ認識ノ啓發ニ努メ居リ時ニ我方遣口ニ對シ相當辛辣ナル批評ヲ加フルコトアルモ京滬方面ノ新聞ノ書振ニ比シ大局ノ上ニ立チ常ニ正論ヲ述ヘ居ルコト屢次ノ電報ニテ御承知ノ通ナルカ或要人カ本官ニ對シ昨夏以來ノ北支事件ニ付大公報カ這個ノ態度ヲ持シ來リタルコトハ之ヲ其ノ結果ヨリ深く詳察スレハ寧ロ日本ニ取リ強力ノ支援ヲ與ヘタルモノト言フヘク今後日本カ北支ニ於テ大公報ヲ抱擁シ行クヤ否ヤハ即チ支那有識層ノ心ヲ擱ミ得ルヤ否ヤノ岐レ目ト評スルモ過言ニアラスト言ヘルハ大体ニ於テ肯定シ得ヘキ觀察ト認メラル

ナリ

支、北平、在支各總領事、厦門へ轉電セリ
支ヨリ上海へ轉報アリタシ

163 昭和11年2月1日 在天津川越總領事より
広田外務大臣宛(電報)

中国紙に対する補助および指導振りにつき意

見具申

天津 2月1日夜発
本省 2月1日夜着

第二八號

往電第二七號ニ關シ

漢字紙對策ニ關スル一應ノ卑見左ノ通

(一)所謂補助金制度ハ結局世間ニ知レ一般支那人知識階級購讀者減少ノ結果ヲ來シ宣傳機關トシテ充分ノ效用ヲ發揮シ得サルノ憾アルヲ免レサルモ益世報補助ニ付テハ既ニ軍側ニ於テ之カ實行ヲ開始シ折角努力中ニモアリ今後ノ指導方法宜敷キヲ得ルニ於テハ相當ノ效果ヲ期待シ得ヘシト存セラルルニ付當方トシテモ之カ補助繼續ニ異存無

御承知ノ通り胡霖、張熾章(主筆)ハ支那操觚界切ツテノ權威ニシテ而モ幸ニシテ兩人共日本出身日本語モ頗ル堪能ナルカ本官ノ今日迄屢接觸シテ受ケタル印象ニ依レハ彼等ハ現代日本ニ對シ愈正シキ認識ヲ深メ來レル様子ニテ支那ハ結局日本ニ依存スルコトニ依リテノミ救ハレ得ヘシトノ信念ヲ固メ居レルカ如シ當方トシテハ將來モ引續キ其ノ心組ニテ彼等トノ接觸ニ努ムル所存ナルモ前記該社及幹部ノ價值ニ顧ミ出來得レハ本邦ノ政治經濟各般ニ亘リ相當ノ學識經驗アル名士御選任ノ上之ヲ當地ニ駐在セシメラレ大公報ノ幹部並平津學界ノ要人ト常時接觸ヲ保チ啓發ニ努メシムル様御考慮ヲ仰キ度ク切望ニ堪ヘサル所ナリ尙右ニ要スル費用ハ來津回數、滞在期間等ノ關係ニ依リ増減ノ餘地ハアルヘキモ年一萬圓モアレハ充分其ノ目的ヲ達シ得ヘシト思考ス

164 昭和11年2月1日 在南京須磨總領事より
広田外務大臣宛(電報)

今後は日本品の排斥を行わないことを条件に満鉄よりの機関車購入に関する張公権鐵道部

長との交渉妥結について

南京 2月1日夜発
本省 2月1日夜着

※※
第八一號
往電第二五號ニ關シ

「本一日張公權ト會見ノ上當然滿鐵ニ落札ノコトト思考スト念ヲ押セルニ張ハ實ハ本日モ「ギョーム」自分ヲ來訪シ隴海線關係白國債權ノ支拂カ最近滞リ居ル點ヲ指摘シテ是非共白國側ヨリ購入方申出アリ自分モ立場ニ窮シ居ル次第ナルカ幸ヒ滿鐵ノ橋ハ上海ニ於テ鐵道部側ニ對シ三、四臺ノ註文ヲ得レハ可ナリトノ意思ヲ表示シ居ルニ付右ニテ折合ヒ度シト述ヘタルヲ以テ本官ヨリ客年往電第一四五二號ノ言明ヲ指摘シツツ滿鐵機關車ハ「ソシエテ、ベルジユ」ノ夫レヨリモ一臺ニ付三萬圓餘低廉ナレハ貴部長ノ述ヘラレタル原則ヲ茲ニ適用セラルコト當然ナリト謂フヘク又白國側主張ハ道理アルニ似テ實ハ我方ヲ「コンピンス」セシムルニ足ラストテ冒頭往電南滿鐵道ノ例ヲモ舉ケ反駁セルニ

三張ハ御説ハ尤ナルカ自分ノ苦境ヲモ御諒察ノ上妥協アリ

度ク今後ノ購入ニ當ツテハ出來得ル限り自分ノ申上ケタル原則ニ基キ措置スヘシト頻リニ懇請セルヲ以テ本官ヨリ御説明ニハ必スシモ納得行カサルモ今後日本品不排斥ノ態度ヲ持スヘシトノ貴部長ノ誠意ニ信賴シテ特ニ今回ハ讓歩スルコトト致スヘシ但シ三、四臺ト謂フカ如キハ少キニ失ス元來滿鐵モ十四、五臺ノ註文ヲ見越シテコソ破格ノ安値ヲ提示シ得タル次第ナレハ此ノ點ヲ考慮シ切メテ半數ヲ滿鐵ニ落スコト妥協ヲ遂クル所以ナルヘシト力説セルニ張ハ又復白國側申出ヲ引用シテ右ニ應セサリシモ百方説得ノ末漸ク十四臺中七臺ハ滿鐵ヨリ購入方ニ同意セリ

尙張ノ希望モアリ本件交渉經過並ニ決定ハ一切新聞等ニ發表セサルコトト致度シ

支ヘ轉電セリ

165 昭和11年2月4日 在中國武藤大使館一等書記官より
広田外務大臣宛(電報)

北平における学生運動鎮静化について

北平 2月4日夜発
本省 2月5日前着

※※
第四八號

當地學生運動ハ客年十二月十九日ノ示威運動以後各學校共休暇ヲ繰上ケ一方官憲側ニ於テ嚴重取締ヲ爲シタル爲漸次鎮靜ニ歸シ別段ノ問題モ起ラスシテ今日ニ至レルカ右休暇ハ一月末ニテ終リ中、小學校ハ何レモ二月一日ヨリ授業ヲ開始シタル處略平常通ノ出席アリ各大學モ弗々授業ヲ開始シ今週中ニハ殆ト全部授業開始ヲ見ル筈ニテ學生聯合會モ復課宣言ヲ發シ居リ之ニテ當地ノ學生運動モ一段落着クモノト觀察セラル尤學生聯合會ハ今回ノ學生運動ノ產物トシテ残り一部學生ハ之ニ依リテ尙種々ノ運動ヲ企ミツツアル模様ニテ今後ト雖機會アル毎ニ民衆運動等ヲ煽ル惧アリ引續キ監視ノ必要アリト認メラル

支、在支各總領事及香港、厦門、滿ヘ轉電セリ

166 昭和11年2月6日 在南京須磨總領事より
広田外務大臣宛(電報)

統一公債發行に關連して關稅剩余を担保とす

る九六公債の支払いを開始するよう孔祥熙ら
へ督促について

南京 2月6日夜発
本省 2月6日夜着

第九〇號

往電第四〇號ニ關シ

六日陳介及孔祥熙ニ對シ統一公債發行ニ當リ關餘ヲ擔保トセラレ居ル九六公債ノ支拂ハ除外セラレ居リ自然同公債ノ支拂長引ク模様ニ見ラルル處九六ハ今回ノ統一公債整理ニ組入レラレ居ルモノヨリ「プライオリティー」ヲ有シ居ル次第ニ鑑ミ至急同公債ノ支拂方法樹立アリ度シト申入レタルニ孔ハ統一公債ハ現ニ關餘ヨリ支拂開始中ノ公債ヲ整理セルニ止マルカ故ニ右ニ依リ九六ノ「プライオリティー」ヲ害スルコトナク既ニ年額五百萬元宛「セツト、アサイド」シ居ル中ヨリ内外債整理委員會カ追テ定ムヘキ方法ニ依リ支拂フコトナル譯ナリト答ヘタルニ付本官ヨリ整理委員會ハ殆ト死者ニ等シク又統一公債ノ發行ニ依リ月額五百萬元ノ餘裕ヲ生スル次第ヲ指摘シ幣制ノ維持等ニノミ使用シ九六ヲ顧ミサル不合理ヲ繰返シ指摘シ置キタリ

尙右機會ニ五百萬元ハ確カニ年々積立テ居ルヤト念ヲ押セルニ然リト答ヘ居タリ
支ヘ轉電セリ

167 昭和11年2月10日 在中國若杉臨時代理大使より
広田外務大臣宛(電報)

満鉄よりの機関車購入決定をもって鉄道部を親日的と非難する中国紙報道振りについて

上海 2月10日後発
本省 2月10日夜着

第九四號

南京發貴大臣宛電報第八一號ニ關シ

八日東京發電通(南京發トシテ配布セルモ實ハ東京發ノ由)トシテ滿鐵ヨリ七、八輛ヲ購入スルコトナリタル旨及之ニ關聯シテ鐵道部ノ親日ヲ云々セル報道アリ同日大連發大東ニモ類似ノ報道アル處同電末段ノ次第モアリ關係方面ニ注意方御取計アリタシ
南京ヘ轉電セリ

168 昭和11年2月21日 在南京須磨總領事より
広田外務大臣宛(電報)

国民政府による治安維持緊急弁法の發布について

第一六〇號 南京 2月21日後発
本省 2月21日夜着

國民政府ハ動亂勃發ノ徵アル場合又ハ國家社會ノ擾亂ヲ企圖スル者アル場合迅速ナル處理ヲ行ヒ得ルヲ目的トシテ昨二十日治安維持緊急辦法七箇條ヲ發布セルカ要ハ社會ノ秩序ヲ紊シ交通ヲ破壞シ暴動ヲ煽動スルカ如キ者アル場合ハ軍警當局ハ武力ヲ以テ之ヲ取締リ得ルト云フカ骨子ニシテ反蔣運動及學生運動ノ如キモ本法ニ依リ直接取締リ得ルコトトナレルカ本二十一日ノ中國日報ハ殷汝耕及平津地方ノ不逞ノ徒ノ如キモ之ニ依リ取締リ得ヘシト論シ居レリ委細郵報スヘキモ不取敢
支、北平、天津ヘ轉電セリ
支ヨリ上海ヘ轉報アリタシ

169 昭和11年2月22日 在南京須磨總領事より
広田外務大臣宛(電報)

国民政府による治安維持緊急弁法發布の背景について

南京 2月22日夜発
本省 2月22日夜着

第一六五號

往電第一六〇號ニ關シ

最近學生及知識階級ノ不良分子ニシテ暴動ヲ計畫スル者アリ反蔣派ハ之ヲ利用シ西南側等トモ聯絡シ政府ヲ窮地ニ陥レントスル者アリ殊ニ右ノ中ニハ新政府成立以來病ト稱シテ杭州ニ引籠リ居ル陳立夫カ實ハ上海市政府内ノ反政府派吳醒亞、潘公展、吳開先等ヲ操リ晨報ヲシテ孔祥熙攻撃ヲ爲サシメツツアルカ如キモ總テ關係アルモノト見ラレタル爲一週間以來政府ハ對策協議中ナリシカ遂ニ冒頭往電ノ措置ヲ執リ彈壓ノ決意ヲ示スニ至リタルモノノ如キ處本二十日蔣作賓モ大体以上ノ經緯ヲ是認シ且本官ニ對シ本年冬季ハ共產黨區域ニ於ケル寒氣甚タシカリシ結果昨日四川ヨリ飛來報告セル者ノ實話ニ依レハ成都方面ノ共產軍中約三

分ノ二ハ討伐軍ニ降服シ三分ノ一ハ貴州方面ニ向ヘル趣ノ處他方約一週間前何鍵ノ來寧報告スル所ニ依ルモ湖南接壤地帶ニ在リシ共產軍中武裝ノ儘降服シタル者約半數ニ達スル由ニテ要スルニ政府トシテハ剿共事業ハ先ツ一安心ニ付反動分子ヲ鎮壓スルニ決定シ今回ノ措置ヲ執ルコトトナレル次第ナリト言ヘリ
支、北平、天津ヘ轉電セリ
支ヨリ上海ヘ轉報アリタシ

170 昭和11年2月22日 在中國武漢大使館一等書記官より
広田外務大臣宛(電報)

共產系学生の指導による排外教育実施案の強要など北平学生運動の状況報告

北平 2月22日夜発
本省 2月22日夜着

第七〇號

往電第四一號ニ關シ

當地學生運動ハ表面上一先ツ鎮靜ニ歸シタルモ各大學内一部ノ學生ハ依然救國會又ハ自治會等ノ名義ヲ以テ策動ヲ續

ケ遂ニ學校行政ニ干涉スルニ至リ清華大學ニ於テハ十九日約二百名ノ學生カ教授會開催中ノ教授連ヲ包圍シテ學期試験ノ免除ヲ迫レル事件發生シ之カ爲教授連ハ職ニ耐ヘストテ總辭職ヲ決行シ二十日以來再ヒ休校ノ已ムナキニ至リ北平大學ニ於テハ過日南京ニ赴ケル學生代表二名ニ暴行ヲ加ヘ放逐シタル事件アリ中國大學ニ於テハ二十一日當局ノ制止ヲ聽カス南下宣傳隊ノ慰勞會ト稱シ學生大會ヲ開キ軍事教練用ノ銃ヲ取出シテ糾察隊ナルモノヲ組織シ校内ヲ占領スル等ノ暴舉ニ出テ遂ニ巡警ト衝突スル等當地學生運動ハ漸次學校騒動ニ轉化スル情勢ヲ示シ居レルカ之ヲ操縦シツツアルモノハ北平學生聯合會ニシテ

最近ハ非常時教育法案ト稱スル過激ナル排外教育實施案ヲ作成シ(委細郵報)之ヲ三月一日ヨリ實施方各學校當局ニ強要シツツアル爲各學校ニ於テハ之カ對策ニ苦心シ居ル狀況ナルカ右ハ共產系學生ノ指導ニ依ルモノナルコト確實ニシテ數日前師範大學教授楊立奎ハ北平學生聯合會ハ全ク共產黨ノ指令ヲ受ケ活動シ居ルモノニシテ其ノ確證ヲ握リ居レリト發表シ一大衝動ヲ與ヘタルカ當地支那側官憲ニ於テモ中央ヨリノ訓令ニ接シ冀察政務委員會ヨリモ徹底的取締方

黨、共產黨、國家主義派其ノ他各排日、反蔣分子ヲ包含シ居タル由ナルカ其ノ際出席セル王造時(國家主義派領袖)李公樸、沈鈞儒(共ニ文化界救國會領袖)及工人代表全國學生救國聯合會代表等ハ何レモ全國黨派聯合シテ抗日國防政府ノ組織方ヲ交々主張シ又大會ノ名ニ於テ左記數項ヲ決議シタル趣ナリ

一 華北防共協定ニ反對ス

二 日本ノ華北増兵ニ反對ス

三 政府ニ要求シテ別ニ非常時期ノ憲法ヲ制定ス

四 言論、集會、出版ノ自由ヲ要求ス

五 密輸日本品ヲ抵制ス

尙右反蔣、排日團體ノ動ニ對シテハ政府黨部筋ニテハ極度ニ警戒シ居リ當日モCC團ニ於テハ自派ノ連中ヲ會場ニ混入セシメ右運動ノ領袖タル王造時、章乃器等打倒ノ「ピラ」ヲ撒布セシメ切崩ヲ試ミタルモ却テ參加群衆ノ爲袋叩ニ遇ヒタル趣ナリ

在支各總領事、香港、北平、厦門へ轉電シ上海へ轉報セリ

命令アリタル趣ニテ二十日綏靖主任公署、憲兵司令、市政府社會局及公安局ノ代表者等會同シ學生聯合會ノ根絶ヲ計ル方針ニテ積極的ニ手入ヲ行フコトニ一決シ既ニ二、三十名ノ學生ヲ引致シ取調ヲ行ヒ居レルカ學生聯合會ハ一定ノ事務所ヲ設ケス極秘裡ニ活動シ居ル爲其ノ根源ヲ覆ヘス迄ニハ相當ノ苦心ヲ要スル趣ナリ

支、在支各總領事、香港、厦門、滿へ轉電セリ

171 昭和11年6月1日 在中国若杉臨時代理大使より
有田外務大臣宛(電報)

全国党派を連合して抗日国防政府を組織すべしとの王造時らの主張について

上海 6月1日後発
本省 6月1日夜着

第三九三號

在上海總領事發閣下宛電報第一九九號ニ關シ

諜報ニ依レハ市商會記念大會ノ參加者ハ上海各界、上海婦女、文化界、全國學生、上海學生、上海青年文藝界、上海職業界、上海各工商工會ノ各救國聯合界等一切ノ社會民主

172 昭和11年6月5日 在中国若杉臨時代理大使より
有田外務大臣宛(電報)

抗日国防政府の組織運動には中国共產党の積極的指導があるとの情報について

上海 6月5日後発
本省 6月5日夜着

第四一〇號

往電第三九三號前段ニ關シ

最近當地及香港ヲ中心トスル反日、反蔣ヲ標榜スル連中ノ間ニ抗日國防政府ヲ組織スヘシトノ主張アリ既ニ實行運動モ始メラレ居ル次第ナル處右運動ノ中心ハ全國救國會ヲ主体トシ章乃器、沈鈞儒等其ノ代表人物ナルカ最近彼等ハ「現在中國ニハ南京、西南、「ソビエツト」ノ三政權アル處何レモ相互ニ徹底的ニ消滅シ得ル力量ナシ一方日本ノ侵略日ヲ追フテ急ナルヲ以テ御互ニ内爭ヲ熄メテ國防ノ爲團結シ國防政府ヲ建設スルコト急務ナリ右ハ全國民衆一致ノ意見ニシテ之ニ反對スル者ハ漢奸ナリ云々」トノ趣旨ノ國防宣傳ノ起草ヲ終リ目下各方面有力者ノ署名ヲ求メツツアル處軍政方面ノ二、三流人物及其ノ他各界有力者間並ニ南京

政府部内ニモ立法委員ノ多數及監察委員ノ一部ノ共鳴者アリ最後ニハ蔣介石虐メノ爲其ノ署名ヲ求メ發表ノ手筈トナリ居ル由ナルカ既ニ西南及共產黨側トハ了解成リ右宣言發表ノ際ハ何レモ賛成ノ意思表示ヲ爲スコトニナリ居ル趣ナリ

右運動ハ第三國際ノ指令ヲ受ケタル中國共產黨ノ積極的指導アリ又結局ニ於テ打倒蔣介石運動ナルニモ鑑ミ今後ノ發展性ハ疑問ナルモ時節柄注意ノ要アリト思料セラル御參考迄

北平、在支各總領事、香港、厦門へ轉電シ上海へ轉報セリ

173 昭和11年7月16日 有田外務大臣より
在中国川越大使宛(電報)

有田外相が許大使の來訪を求め福岡・上海間航空連絡の急速實現を要望し中山水兵射殺事件の判決につき注意喚起について

本省 7月16日發

第一六九號

十五日特ニ許大使ノ來訪ヲ求メ本大臣ヨリ

ニ次テ中山水兵事件ニ關シ「支那側カ既往ノ經緯ヲ無視シ万一無罪ノ宣告ヲナスカ如キコトアラシカ萱生事件ノ解決ニモ惡影響ヲ及ホスヘク外交上極メテ憂慮スヘキ事態ヲ惹起スヘシ」トテ支那側ノ深甚ナル注意ヲ促シタル處許大使ハ御話ノ次第ハ直ニ本國政府ニ電報スヘキ旨答ヘタリ

南京、北平、天津へ轉電セリ

174 昭和11年7月25日 在南京須磨總領事より
有田外務大臣宛(電報)

福岡・上海間航空連絡の急速實現を張群へ要請について

南京 7月25日後發
本省 7月25日夜着

第五二五號
往電第五一一號ニ關シ

本廿五日張群ニ對シ阿富汗發閣下宛電報第五九號及第七二號ノ次第二モ觸レ上海、福岡間航空ヲ此ノ上遷延シ置クニ於テハ由々敷キ結果トモナルヘク(張ハ如何ナル意味ナリ

「日支外交調整ニ關スル張部長ノ演說(二中全會)ニハ自分モ同感ニテ日支關係ノ打開ハ自分ノ常ニ努力シ居ル所ナリ。支那側ハ先ツ日支關係ノ根本的調整ヲナシタル後個々ノ問題ノ解決ニ乗出サントノ考ナルヤニ認メラルル處根本的解決ニハ長キ時間ト忍耐トヲ要スルノミナラス根本的調整ヲ俟ツテ始メテ懸案ヲ解決セントスルハ中々容易ナラサルコトニテ其ノ間面白カラサル空氣ノ醸成セラルル虞モアリ從ツテ先ツ比較的ニ容易ナル問題及既ニ兩國當局ノ意見一致セル問題ヨリ着手シ漸次解決ヲ進メ行クコト兩國關係ノ明朗化ヲ計ル所以ナリトノ趣旨ヲ說示スルト共ニ支那側ニ於テ最初ニ解決ヲ計ルヘキ問題トシテ福岡上海間航空問題ヲ提起シ同問題ハ客年既ニ兩國間ニ意見一致シ調印ヲ見ル計トナリ居タルニ拘ラス蔣委員長ノ反對アリタルヤニテ中止ノ已ムナキニ至レルハ極メテ遺憾ナルコト竝ニ單ニ交通上ノ便益以外飛行機ハ人目ヲ惹キ易ク從テ之カ實現ハ兩國人心ニ多大ノ好影響ヲ與フヘキコト等ヲ詳細説明シ急速實現方要望シタルニ對シ許大使ハ早速本國政府ニ電報ノ上何分ノ回答ヲナスヘキ旨約セリ

ヤト問ヘルニ付南方ニモ自由飛行實行方ノ主張多シト答ヘ置キタリ)此ノ際是非其實現方有田大臣モ特ニ切望シ居ル次第ナリト述ヘタルニ張ハ實ハ二日前許世英ニ訓電ノ際モ(張ハ豫テ貴大臣ト充分話合ヒタル通り相當ノ決心ヲ以テ日支關係ヲ改善シ度キニ付例ヘハ廿二日路透電三相會議ニ依テ日本ハ對支強硬態度ニ轉向方宣言スヘシトカ支那側ヲ刺戟スル御措置差控方閣下ニ申入ルル様電訓セリ)航空ニ付テハ觸レサリシカ實ハ先般閣下ト話合ノ際兩國關係充分ノ展開出來ストモ二分ナリ三分ナリ調整シ行キ度シト申シタルコトモアリ又航空ハ貴官ニ於テ南京在勤中最モ努力シタル問題ニモアリ何トカ我々ノ手ニテ片付ケ度ク折角考慮中ナルコトヲ閣下ニ電報セラレ差支ナシト述ヘタ

支、北平、天津へ轉電セリ

175 昭和11年7月28日 在南京須磨總領事より
有田外務大臣宛(電報)

福岡・上海間航空連絡の實現をわが方が最重要視する旨を高宗武に説明について

南京 7月28日後発
本省 7月28日夜着

第五三六號

本官發支宛電報
第三四八號

本官發大臣宛電報第五二九號ニ關シ

昨廿七日高宗武來訪本日赴滬閣下ニ對シ西南問題解決後ノ對日方針ニ付詳シク張群ノ意嚮ヲ申上クル積リナリト語リ居タルカ其ノ際本官ヨリ例ノ關稅引下及北支關稅移讓問題ニ付テモ高ノ問ニ應シ我方ノ立場ヲ申聞ケ兼ネテ航空聯絡ハ我方ノ最重要視スル所ナル點ヲ強調シ置キタル處高ハ閣下ハ何日頃來寧開談セラルル筈ナリヤト尋ネ張群モソロソ口閣下ト直接御話シ度キ希望ナル旨ヲ繰返シ居タルニ付蔣介石ハ八月末頃ニハ歸寧ノ筈ナリトノコト故必要アラハ其ノ頃來寧セラルル譯ナルヘシト答ヘ置キタルニ高モ夏休中ハ要人モ出拂ヒ居レハ閣下トノ話合ハ何レ秋頃ニテ可ナルヘキモ夫迄ノ間ニ本官等ト下相談ヲ爲シ度シト述ヘ居タルニ付右御含迄電報ス尙高ハ閣下ヨリ蔣介石等ニ對スル御傳言モアラハ間違ナク傳ヘ度シト述ヘ居タルニ付テハ特ニ航

空問題ニ付強ク申聞ケ置カルル様致度シ
大臣ヘ轉電セリ

176 昭和11年7月29日 有田外務大臣より
在中国川越大使宛(電報)

在清津中国領事館員の軍機通信事件に關し円満解決方許大使より有田外相ヘ要望について

本省 7月29日後3時30分発

第一八三號

往電第一六九號ニ關シ

二十七日許大使本大臣ヲ來訪シ、福岡、上海間航空連絡問題ニ關シテハ早速本國政府ニ電報致シ置キタルヲ以テ外交部ヨリ交通部、軍政部、海軍部等ニ話ヲ進メ居ルコトト思ハルルモ何分蔣委員長ノ廬山行等ニ依リ其方ニモ話ヲスル必要アル爲返事力遅レ居ルモノト思ハルル旨竝ニ日本新聞中ニハ西南問題解決セル爲蔣介石ノ對日態度硬化セリ等ノ觀測ヲナシ居ル者尠カラサル處張外交部長ノ見解ハ右トハ反對ニテ、既ニ國內ノ反對派力少クナレル以上日支國交ノ調整ニハ却テ好都合トナレリト考ヘ居ル旨ヲ述ヘタル後清

二 日中諸案件交渉

津領事館ハ曩ニ帽兒山、洮南ト關聯シ兩國政府間ニ話アリタルモノナルカ滿洲ニ於ケル領事館ノ開館問題ハ其後事態ノ變遷ニ依リ自然ニ解決セル次第ナル處清津領事館ハ數年來事實上日本側ヨリ默認セラレ、支那人ノ居住登錄等モ領事ノ證明ニ依ツテ取扱ハレ又天長節等ニモ領事トシテ招待サルル等事實上領事トシテ地方的ニハ待遇セラレ居レリ今次ノ事件ニ付テハ真相ヲ知ルニ由ナキモ新聞ニ依レハ軍機ニ關スル事項ヲ報告セル爲トノ事ナルカ大使館ヘノ右報告寫ニ依レハ軍機ノ報告ト云フモ右ハ何レモ新聞ニ出タル記事ヲ報告セルニ過キサル狀態ナレハ(大滿蒙、京城日報等五六種ノ新聞名ヲ舉ケ且大使館ヘノ報告寫ヲ多數示セリ)此際兩國國交ニ障碍ナカラシメンカ爲自分ト貴大臣トノ間ニ然ルヘク話ヲ進メ度キ希望ヲ有スト述ヘタリ

右ニ對シ本大臣ハ本件ハ既ニ司法當局ノ手ニ渡リ居ル由ニ付右結果ヲ俟タステ今日急ニ外交交渉ヲナスト云フコトハ困難ナリ又事件ノ内容ニ付テハ詳細承知セサルモ今貴大使ノ御話ニ依レハ報告ノ内容ナルモノハ新聞記事ヲ翻譯セルモノニ過キストノコトナルモ右大使館ヘノ報告以外軍機ニ屬スル如何ナル事項ヲ其他ノ方面ニモ報告シ居タリヤ否

ヤハオ互ヒニ承知セサル所ナリ殊ニ眞疑ハ明ナラサルモ南京政府ハ最近米國獨逸等ヨリ武器ヲ多數買ヒ居レリトノ情報モアリ又蔣委員長張部長ノ氣持ハ自分ニハ善ク分リ居ルモ西南ニ於テ抗日宣戰等ノコトヲ宣傳シ居ル外、南京政府ノ一部若クハ之ニ接近セルモノノ中ニハ同様ノ考ヲ有スル者ナキニ非サルヘク清津ノ領事館員力是等ノ方面トノ間ニ南京政府ニハ報告スルコトナクシテ、種々ノ通信ヲ爲シ居タルヤモ知レサルコトハ吾々局外者トシテハ肯定モ否定モ出來サル所ナレハ此際ハ中央ニ於ケル話ハ差控ヘ事件ヲ地方的ニ又司法的ニ解決スル様心懸クルコト賢明ナラント答ヘ置ケリ

南京、北平、天津ニ轉電セリ

177 昭和11年9月21日 在上海若杉總領事より
有田外務大臣宛(電報)

九、一八記念日における上海市政府の戒嚴令
施行を各界救国会が憤慨し國民の愛國運動に
干渉しないよう要求について

上海 9月21日後発
本省 9月21日夜着

第四〇四號

往電第四〇二號ニ關シ

市政府側ヨリノ内報ニ依レハ當地各界救國會ハ九、一八當日市政府當局カ戒嚴令ヲ施行シ彼等ノ所謂愛國運動ニ彈壓ヲ加ヘ且十數名ノ檢舉者ヲ出シタルコトニ憤慨シ昨二十日午前幹部會開催ノ結果中央政府、上海市政府ニ對シ國民ノ愛國運動ニ干涉セサルコト及檢舉者ノ即時釋放方々々要求スルト共ニ(中央ニ對シテハ代表トシテ宋慶齡及史良ヲ派遣スルコトトナリタル由)政府反對ノ通電發出方ヲ決議シタル旨ノ情報アリタルヲ以テ吳市長ハ事態ヲ憂慮シ直ニ全市ニ亘リテ嚴重ナル警戒ヲ行ヒタル結果當日ハ幸ニ事ナキヲ得タルカ支那側ニテハ九、一八ニ對スル戒嚴令期間ハ終了セルモ事實上當分尙戒嚴令ヲ繼續治安維持ニ當ルコトトナリタル由ナリ

北平、在支各總領事、厦門へ轉電シ支へ轉報セリ

昭和11年10月15日 在南京須磨總領事より
有田外務大臣宛(電報)

真方武官の雲南駐在は主權侵害であるので撤退させ同時に中国各地のいわゆる特務機關も一律撤廢するようにとの外交部覚書について

南京 10月15日後発
本省 10月15日夜着

第八三八號

川越大使ヨリ

外交部ハ十四日附覺書ヲ以テ最近日本陸軍少佐眞方勳雲南ニ至リ暫時駐在スル旨語リタル趣ナリ

此ノ日本カ恣ニ駐在武官ヲ派駐スル件ニ關シテハ外交部ハ曩ニ横田、田中等カ阿拉善ニ特務機關ヲ設置セル節モ抗議セル次第ナリ然ルニ今又眞方ヲ雲南ニ派遣スルハ主權侵害ナルニ付速ニ電命ノ上眞方ヲ引揚ケシムルト同時ニ各地ニ駐在スル所謂特務機關ヲモ一律撤去セシメラレ度シ云々ト申越セリ原文郵送ス

支、在支各總領事、北平、雲南、張家口へ轉電セリ

支ヨリ上海へ轉報アリタシ

179 昭和11年10月26日 在南京松村總領事代理より
有田外務大臣宛(電報)

谷萩武官の青島駐在に抗議し中国各地に任意駐在する日本側武官の一律撤退を要求した外交部覚書について

南京 12月8日後発
本省 12月8日夜着

第一〇一四號

外交部ハ本八日附節略ヲ以テ確報ニ依レハ張家口日本特務機關ハ現ニ軍人四名ヲ派シ苦力三十四名ヲ使役シテ大本公館ヨリ市内經由張北ニ至ル電話線架設中ノ趣ナル處日本軍カ恣ニ所謂特務機關ヲ設置シ電柱ヲ立テ通話設備ヲ爲スハ恣ニ支那ノ主權ヲ蔑視スルノミナラス交通行政ヲ紊ルモノニ付至急特務機關ノ撤消並ニ電話架設工事制止方御手配相成リ結果回報ヲ得度キ旨申越セリ原文郵送ス

支、北平、天津、張家口へ轉電セリ

181 昭和12年1月5日 在中国加藤大使館一等書記官より
有田外務大臣宛(電報)

北平特務機關による同地から通州までの軍用電話架設を冀察政務委員会了解について

北平 1月5日後発
本省 1月5日夜着

第五號

180 昭和11年12月8日 在南京須磨總領事より
有田外務大臣宛(電報)

張家口特務機關が同地から張北まで建設を進めている軍用電話に関し工事制止を要求する外交部覚書について

第八七六號
川越大使ヨリ
外交部ハ十月二十四日附覺書ヲ以テ谷萩少佐ノ青島駐在ニ抗議スルト共ニ往電第八三八號同様任意駐在セル日本武官ノ一律撤退方ヲ申越セリ

原文郵送ス

本官發支宛電報

第三號

客年南京來電合第六三八號及合第六三九號並ニ貴電合第四號ニ關シ曩ニ當地特務機關ヨリ冀察綏靖主任公署ニ對シ北平通州間軍用電話線改修ニ當リ便宜供與方依頼アリタル處同公署ヨリ右電話線ハ新ニ架設セラルルモノナリトテ之ヲ拒絕シ來リ且冀察政務委員會ヨリモ當館ニ對シ右工事制止方申入レ來リタルカ種々折衝ノ結果今般特務機關ト宋哲元トノ間ニ了解成立シ本問題ハ解決セル趣ナリ

右電話線ハ過般工事了シ一旦殷汝耕宅ヘ引線シタルモ軍用電話タルノ趣旨ニ鑑ミ十二月三十一日右引線ヲ撤去シタリ

尙今次南京政府ノ抗議ハ冀察綏靖主任公署ヨリノ報告ニ基クモノニシテ參謀長張樾亭ノ仕業ナルモノノ如キヲ以テ此ノ際當館及特務機關ヨリ宋哲元及張ニ對シ注意ヲ喚起スルコトトセリ右不取敢

大臣、上海大使、滿、天津ヘ轉電セリ

~~~~~

漢口ヨリ重慶ヘ、廈門ヨリ福州ヘ轉電アリタシ

~~~~~

183

昭和12年1月8日

在中国川越大使より
有田外務大臣宛(電報)

鄭州文化研究所への中國公安当局による家宅

搜索および抵抗した邦人二名の逮捕に関する

外交部説明振りについて

南京 1月8日後発

本省 1月8日夜着

第一六號

往電第一三號ニ關シ

八日外交部係官須磨ヲ來訪シ鄭州ヨリノ報告ニ依レハ二日夜夜陰ニ乘シ該研究所ヨリ裏壁ヲ乗越ヘ出テタル者二名アリタルニ付公安局ニ於テ取押ヘ取調ヘタル結果一名ハ日本人山口ニシテ且同所カ特務機關ト稱シ不穩ノ計畫ヲ企テ居ルコト判明シタルニ付領事ニ對シ同所搜查方協力ヲ求メ搜查ニ赴キタル處領事ハ一應之ヲ承諾シ乍ラ直ニ研究所ニ内報シタル爲恰モ證據物件ヲ燒棄中ナリシ所員志賀、田中ハ一人ハ拳銃一人ハ日本刀ヲ以テ抵抗シタルニ依リ之ヲ取押

182

昭和12年1月7日

在中国川越大使より
有田外務大臣宛(電報)

南京總領事館における無電連絡の記録を中国側が指摘し即時停止を要求について

南京 1月7日後発

本省 1月7日夜着

第一二號(至急、極秘)

本七日魏道明須磨ヲ來訪約三箇月以前ヨリ交通部ニ於テ確ニ當館ニ無電ノ施設アルヲ知り記録ヲ取り居タリトテ當館來往電ノ「レコード」ヲ示シ是非共直ニ停止アリ度キ旨申出テタルニ依リ須磨ヨリ右「レコード」ヲ突返シ全ク誤解ト考ヘラルル旨應酬シタルニ重慶領事館ニモ小キ同様ノ施設アルヲ確カメ居リ何レ公文ヲ以テ申入ノ筈ナリト言ヘルニ依リ之亦誤解ナラント應酬シ置キタルカ南京政府力直接此ノ種ノ申出ヲ爲スニ至リタルハ最近特ニ强硬トナレル其ノ對日態度ヨリスルモ實ハ當リ前ノコトナルカ當分ハ外線ニ依ル等然ルヘク誤魔化スヘキモ至急技術的ニモ對策ヲ考究スルノ要アリト存セラル不取敢

上海大使、在支各總領事、汕頭、滿ヘ轉電セリ

184

昭和12年1月10日

在漢口三浦總領事より
有田外務大臣宛(電報)

ヘテ反蔣ノ證據物件ヲ押收シタルモノナルカ近來各地ニ於テ特務機關ト稱シ禁制毒藥ヲ取扱ヒ又ハ不正事業ヲ營ミ居ル者アルヲ以テ嚴重査察中ナリシニ付本件手入ハ公安局トシテハ已ムヲ得サリシ次第ナル趣ナリトテ釋明スル所アリタリ依テ須磨ハ支那側事情ノ如何ニ拘ラス邦人ヲ抑留シ其ノ家宅ヲ搜查シ邦人ノ財産ヲ押收スルカ如キハ我方ノ斷シテ容認セサル所ニシテ鄭州領事ニ於テ支那官憲ノ邦人家宅搜查ヲ承認シタリ等トハ虚構モ甚タシク本件ニ關シテハ詳細ヲ待テ更ニ申入ルルモ先ツ支那側ノ陳謝ヲ要求スト告ケ引取ラシメタリ

尙八日ノ當地新聞ハ何レモ「日人鄭州ニ機關ヲ密設シ匪賊ト勾結シテ暴動ヲ企圖ス」ナル大見出ヲ以テ本件支那側ノ言分ヲ報道シ且日人引渡ニ付日本領事ハ道歉ヲ表セリト附記シ居レリ

上海大使、北平、天津、漢口、鄭州ヘ轉電セリ

上海大使ヨリ上海ヘ轉報アリタシ

~~~~~

鄭州文化研究所において中国側に押収された  
書類等につき報告

漢口 1月10日前発  
本省 1月10日後着

第一四號(至急)

鄭州發本官宛電報

第三號

支へ轉電アリタシ

第一號(至急)

大臣宛往電第二號ニ關シ

一、當地陸軍側及研究所員ニ就キ確メタル所ニ依レハ

(イ)暗號書ハ完全ニ燒棄シ天津軍ヨリノ訓令ハ事前ニ天津

ニ返送済

(ロ)軍事(軍隊、航空兵工廠)及外人調査方ニ關スル天津軍

ノ指令書ハ燒却シ得タル見込

(ハ)一般情報、楊軍(陣地偵察、兵工廠關係等)及航空調査

報告ノ控綴込計六冊並ニ陝西其ノ他西北地方旅行報告

書、文書發送簿、會計書類、日誌等ハ燒棄不充分ノモ

ノアリ

尙日本刀三口、拳銃一挺、彈丸十五、六發ヲモ押収セラ  
レタル由

三、大臣宛電報第二號第二項ノ書類ハ支那側ニ於テ極メテ重  
大視シ居ルモ志賀ノ説明ニ依レハ右ハ單ニ同人カ思付ヲ  
鉛筆書シ置キタルモノニ過キスシテ軍側ト何等關係ナキ  
モノノ由

三、專員公署係官ハ九日往訪ノ八谷ニ對シ押収書類中軍事關  
係ノモノ計一一件(一ノハ)ノ燒殘リト思ハルハ七日專  
員洛陽ニ携行ノ上劉峙ニ渡シタリト述ヘ同公署ニ殘シ居  
ル前記志賀ノ鉛筆書數枚及鄭州特務機關長志賀秀次ノ印  
鑑ヲ捺シタル機密地圖買收費支拂證明書等ヲ示シタル由  
ナルカ八谷ハ志賀ノ鉛筆書ニ付二ノ通り説明シ置キタル  
由尙其ノ際同係官ハ南京政府ニ對シ研究所搜查立會方ニ  
付本官カ承認ヲ與ヘタリト報告シタルコトナシト言明シ  
タル趣(南京發大臣宛電報第一六號參照)

四、八谷ヨリ係官ニ新聞記事取締方申入レタル處支那側ハ充  
分注意スヘキニ付貴方ニ於テモ御配慮アリ度シト述ヘ居  
タル由ニ付右御含置請フ

本官一兩日中ニ開封ニ赴キ商震ニ面會ノ筈(佐田ト協議済、  
方)

陸軍關係へ然ルヘク御内報相成度シ)

大臣、上海大使、北平、天津、南京へ轉電アリタシ

上海大使ヨリ上海へ轉報アリタシ

185 昭和12年1月11日 在中国川越大使より  
有田外務大臣宛(電報)

天津・塘沽間でのわが方特務機關による軍用  
電話架設に対し外交部抗議について

南京 1月11日後発  
本省 1月11日後着

第二〇號

本使發天津宛電報

第二號

外交部ヨリ九日附覺書ヲ以テ日本人ハ最近塘沽ヨリ八里臺  
南大橋ヲ經テ八里大街ニ沿ヒ天津海光寺兵營ニ至ル電話架  
設中ナリトノ報告ニ接シタルカ北平、通縣間軍用電話架設  
問題ニ付テハ既ニ客年十二月十七日及三十一日ノ二回ニ亘リ  
制止方申入レ置キタルニ拘ラス何等回答ナキ處今回更ニ天  
津市内ニ於テ同様ノ事件發生セルハ故意ノ仕業ニシテ華北

電政事業ニ危害ヲ及ホスヘキヲ以テ斷シテ容認シ難キニ付  
至急撤去アリ度ク尙回答ヲ望ム旨申越セリ  
大臣、上海大使、北平へ轉電セリ

186 昭和12年1月11日 在中国川越大使より  
有田外務大臣宛(電報)

天津・塘沽間軍用電話架設問題については地  
方当局の了解のもとに円満実施されたもので  
あると回答する旨天津總領事宛通報

南京 1月11日後発  
本省 1月11日後着

第二一號

本使發天津宛電報

第三號

往電第二號ニ關シ

此ノ種事項ニ關シ最近外交部ヨリ執拗ニ抗議シ來リ煩ニ堪  
ヘサルニ付テハ北平宛往電第一號ノ次第ハアルモ此ノ際簡  
單ニ突撥ネ置クコト適當ト認メラルルヲ以テ外交部ニ對シ  
本件等ハ何レモ貴國關係地方當局トノ完全ナル了解ノ下ニ

圓滿ニ實施セラレタルモノナル旨回答シ置クヘキ處何等御意見モアラハ折返シ御回電アリタシ  
大臣、上海大使、北平へ轉電セリ

187 昭和12年1月11日 在中国川越大使より  
有田外務大臣宛(電報)

河南省黄河以北の各県獨立計画等に関する日  
本側の秘密文書が鄭州文化研究所において押  
収されたとの中国紙報道について

南京 1月11日後発  
本省 1月11日夜着

第二號

鄭州發漢口宛電報第一號ニ關シ

十一日漢字紙ハ何レモ中央社鄭州電トシテ在鄭州日人ノ不正行為ニ關シ確證ヲ得タリトノ大見出ヲ以テ特務機關捜査ノ秘密文書中專員公署ニ於テ一部分ヲ整理シタルカ其ノ内重要ナル點ハ

(一)河南省黄河以北ノ各縣ヲ獨立セシメ自治區ト爲シ〇〇〇  
(劉桂堂カ)ヲ利用シテ該區ノ長官タラシム

第四號

本官十二日(八谷、増田同行)開封ニ商震ヲ往訪セル處商ハ病氣臥床中ノ爲劉祕書長ニ會見シ

一、研究所ニ對シテ爲セル家宅捜査、所員ノ逮捕抑留、所有物件ノ押收等ハ明カニ法權ノ侵犯ニシテ我方トシテハ容認スヘカラサル次第ニシテ右不法行為ニ對シテハ其ノ責任ヲ問ハサルヘカラスト抗議セル處劉ハ貴方申出ノ次第ハ了承セルモ曩ニ中央ヨリ外交問題ハ中央ニテ處理スヘキ旨訓令アル關係上本件モ本省限り勝手ニ處理シ難シト答ヘ之ニ對シ本官ハ支那側内部手續問題ハ兎モ角モ現地ノ責任者トシテハ直接省當局ニ抗議スル他ナシト反駁シタルニ劉ハ前言ヲ繰返シ申出ノ次第ハ詳細中央ニ傳フヘシト答ヘタリ

二、次イテ河南省内ニ於ケル支那官憲ノ邦人ニ對スル態度ニ言及シ増田事件ヲ擧ケ其ノ不都合ヲ詰リタル處劉ハ之亦中央ノ指示ヲ俟ツ他ナク殊ニ同事件ヲ惹起シタル憲兵ハ中央直轄ナレハ省ニ於テハ如何トモシ難キモ至急解決方申送ルヘシ

三、研究所問題ニ關スル新聞記事ニ付テハ篤ト取締ルヘキ旨

(一)土匪民團ト結束シテ武器彈藥ヲ供給シ暴動ヲ起サシム  
(二)反動的口號ヲ印刷シ民衆ヲ煽惑セシム  
(三)中國軍事秘密文書、地圖等ヲ集メ間諜工作ヲ實行セシム  
(四)特殊無線電班ヲ組織シ中國電信ノ妨害又ハ窃取ヲ爲サシム  
ム

等ナル旨ヲ掲載シ居レリ御參考迄

上海大使、北平、天津、漢口、鄭州へ轉電セリ

188 昭和12年1月14日 在漢口三浦總領事より  
有田外務大臣宛(電報)

鄭州文化研究所への家宅捜索、所員の逮捕抑  
留および所有物件押収は治外法權の侵犯であ  
るとして河南省政府へ抗議について

漢口 1月14日後発  
本省 1月14日夜着

第二號

鄭州發本官宛電報

第七號

支へ轉電アリタシ

ヲ約セリ

委細公信

前電ノ通り轉電、轉報アリタシ

189 昭和12年1月18日 在中国川越大使より  
有田外務大臣宛(電報)

鄭州事件を例に挙げ日中外交を常道に戻すた  
めには日本軍の特務機關撤去が必要であると  
論じた中国紙論調について

南京 1月18日後発  
本省 1月18日夜着

第三七號

十八日ノ朝報ハ公然ノ間諜ト題シ左ノ通り論評セリ  
日支外交力常道ヲ外レテ進ミツツアルハ外交官ノ無力ト軍  
人ノ活動ヲ物語ルモノニテ鄭州事件ノ全貌ヲ見ルモ軍人カ  
如何ニ對支政策上重要ナル地位ヲ占メ居ルカカ窺ハレ特ニ  
特務機關ノ活動ハ注目ニ値ス

其ノ活動ハ全ク間諜ニシテ支那ノ軍事探偵ハ勿論内亂ヲ誘  
發シ秩序ヲ攪亂スルコトヲ本務トシ其ノ工作カ公然軍事ヲ

超越シテ政治的任務ヲ帶ヒ居ルハ事實ナリ特務機關ハ即チ日支紛糾ノ製造元ナレハ外交ノ常道化ヲ計ラントセハ是非共之ヲ撤去スルヲ要ス吾人ハ國家ノ安寧秩序ヲ維持シ國家ノ秘密ヲ保持センカ爲正式交渉ヲ提出スルト共ニ隨時該機關ノ活動ヲ監視シ且如何ナル階級ト雖同機關ト接觸セシメサル様注意スヘキコトヲ敢テ主張スルモノナリ

上海大使、北平、在支各總領事、鄭州へ轉電セリ

上海大使ヨリ上海へ轉報アリ度シ

190 昭和12年1月21日 在中国川越大使より 有田外務大臣宛(電報)

鄭州事件への中国側不法を追求する交渉は河南省政府を相手としても進捗困難の旨意見具申

上海 1月21日後発  
本省 1月22日前着

第四七號

鄭州發本使宛電報

第二號

貴電合第三九號ニ關シ

障ヲ來スニ付當局ノ陣容ヲ建直ス要モアリト思考セラル  
右現地ノ事情有リノ儘不取敢  
大臣、支、北平、天津、漢口へ轉電アリタシ

191 昭和12年1月21日 在中国川越大使より 有田外務大臣宛

青島公有財産國庫證券に關するわが方權利の留保申入れ方ならびに九六公債の整理交渉方につき請訓

滬機密第三九號 (接受日不明)

昭和十二年一月二十一日

在中華民國(上海)  
特命全權大使 川越 茂

外務大臣 有田 八郎殿

青島公有財産國庫證券及九六公債ニ關シ支那政府ニ申入ノ件

「マルコニ」及「ヴィツカース」借款整理協定成立シ既ニ昨年度鹽稅收入剩餘ヨリ支拂ヲ開始セルヤノ報道ニ關シテハ夫々一月二十日附普通第三五號及一月十八日附普通第二

一、省政府側ハ交渉案件ハ一切中央ニテ處理スヘキ訓令ニ基キ本件ヲ取扱ヒ當方ノ抗議乃至要求ハ中央ニ取次クヘキモ夫レ以上ノコトハ爲シ得ル權限ナキコトヲ明言シ押收物件ハ中央ノ命ニ依リ悉ク南京ニ送付シ居ル次第ニ付(機密公領第五號參照)中央ヨリ本件處理方特ニ指示ナキ限り之ト交渉スルモ結局暖簾ニ腕押シニ終ル懸念アリ

二、省政府ノ實權ハ劉峙ニアリ商震ハ大小トナク劉ノ指示ヲ受ケ居ルニ付假令中央ノ命ニ依リ交渉ノ衝ニ當ル場合ニモ兎角劉ニ掣肘セラレ思フ儘ニ運ヒ得サルヘク又劉ニ對シ交渉スルモ責任者ニアラサルヲ口實ニ交渉ヲ回避スルハ勿論旅行勝チニ付同人ヲ相手トスルハ不便多シ

三、當地ノ人心ハ現在ノ處左迄惡化シ居ラサルモ相當鼻息荒キヲ以テ中央ニテノ交渉ハ兎モ角現地ニ於ケル交渉ノ内容洩ルルカ如キ場合ニハ興奮ノ餘リ越軌ノ行動ニ出ツル者ナキヲ保シ難ク斯テハ本件解決ヨリモ此ノ種派生的事件ニ惱マサルル惧アリ

尙又本件交渉ハ文書ノミニテハ不充分ニ付省政府側ト面談スル要アル處當地、開封間ハ往復三日ヲ要シ頗ル不便ニシテ交渉ノ爲屢々往復スルコトハ他ノ事務ニ多大ノ支

九號拙信ヲ以テ報告ノ次第アル處青島公有財産國庫證券及九六公債ノ如ク明確ニ鹽稅ヲ擔保ト指定シアル借款ノ元利償還ヲ怠リ乍ラ本件英國側兩借款ノ如キ無擔保トモ言フヘキ借款ニ對シ鹽稅ヨリ支拂フコトハ我方トシテ默過シ難キヲ以テ此ノ際先ツ支那側ニ對シ右報道ヲ確メタル上ニ一面青島公有財産國庫證券ニ關スル我方ノ權利留保ヲ爲シ置クト共ニ重點ヲ九六公債ニ指向シ之カ整理ノ進捗ヲ圖ルコトト致度處何分ノ儀電報ヲ以テ御回示相煩度

追而青島公有財産國庫證券及九六公債ノ相互關係ニ關シ前記ノ如キ取扱ヲ爲サントスル所以ハ前者ニ付テハ我方ノ督促ニ對シ支那側ハ曩ニ整理交渉ニ應スル旨回答シ來レルモ(客年四月六日附南京發本使宛公信普通第一一一號)我方トシテハ山東鐵道問題ノ關係モアリ引續キ全額支拂方督促スルノ態度ヲ持シ來レル次第ナルカ當分右ノ態度ニテ進ムコト可然キヲ以テ此ノ口ハ權利留保ニ止メ寧ろ客年一端我方ヨリ口ヲ切りタルモ一向埒明カサリシ九六公債ノ方ヲ整理支拂ハシムルノ契機ヲ作ルコト適當ナルヘシトノ判斷ニ基クモノナリ爲念

本信寫送付先 南京大使 北平 天津 青島

192 昭和12年1月24日 在広東中村総領事より  
有田外務大臣宛(電報)

海軍第三艦隊司令官の広東訪問に対する広東  
軍当局の毎日の態度について

広東 1月24日後発  
本省 1月24日夜着  
第二號

廣東軍當局カ我方ニ對シ國際儀禮ヲ辨ヘサルハ顯著ノ事實  
ナル處今般第三艦隊司令長官來廣ニ當リテモ余漢謀ハ當方  
ノ公式訪問ニ對シテ自身答禮ヲ拒ミ唯公式訪問アリタル場  
合ニハ午餐ニ招待セント述ヘタルモ長官トシテハ答禮ナキ  
公式訪問ハ素ヨリ不可能ナルヲ以テ本官ヨリ英米艦隊司令  
長官ニ對シテハ先年總司令、省主席等カ何レモ答禮ヲ爲シ  
タル先例アルコトヲ述ヘ非公式ニテモ圓滿ニ取運フ様各種  
ノ案ヲ立テ極力折衝シタルモ不調ニ終リタリ  
之ハ儀禮上ノ些事ノ如キモ我方ニ對スル軍事當局ノ毎日の  
態度ヲ反映スルモノト認メラルルニ付御參考迄ニ電報ス  
支ヘ轉電セリ  
支ヨリ上海大使ヘ轉報アリタシ

193 昭和12年1月27日 在中国川越大使より  
有田外務大臣宛(電報)

鄭州文化研究所への家宅搜索、所員の逮捕抑  
留および所有物件押収に関するわが方抗議文  
の文面報告

南京 1月27日後発  
本省 1月27日夜着

第六四號

本使發上海大使宛電報

第六八號

以書翰啓上致候陳者本年一月五日在鄭州貴國官憲ハ同地帝  
國領事官ノ承認ヲ經ルコトナク本邦人志賀秀二經營ノ文化  
研究所ニ侵入シ家宅搜索ヲ行ヒ書類、物品ヲ押收シ所長志  
賀及所員田中教夫、山口勇男ヲ拉致拘禁セル處右ハ條約ノ  
規定ニ背反スル不法行爲ニシテ帝國政府ノ認容シ難キ所ニ  
有之在鄭州帝國領事官ハ既ニ帝國政府ノ訓令ニ依リ當該地  
方貴國官憲ニ對シ本事件ニ關シ五項ノ要求ヲ申入レタルニ  
付テハ此ノ際國民政府ニ於テ右條件ニ依リ本事件至急解決  
ニ至ル様何分ノ御手配相成ルト共ニ今後此ノ種不法行爲ノ

再發ヲ見ルコトナキ様必要ナル保障ヲ與ヘラレンコトヲ要  
請致候

右照會旁本使ハ茲ニ重ネテ閣下ニ向テ敬意ヲ表シ候 敬具

194 昭和12年1月27日 在中国川越大使より  
有田外務大臣宛(電報)

鄭州文化研究所での日本側間諜活動に対する  
外交部抗議文について

南京 1月27日後発  
本省 1月27日夜着

第六五號

外交部長張群ヨリ二十六日附公文ヲ以テ鄭州事件ノ經過ヲ  
詳述セル上當時押收セル證據物件ニ依リ

一通商巷九號ハ日本駐屯軍派遣ノ河南、陝西、甘肅、三省

ニ亘ル唯一ノ間諜機關ニシテ昨年七月ヨリ支那ノ軍機ヲ

調査スル報告書ヲ百十六回ニ亘リ提出シ居リ道清鐵道沿

線軍事配置圖ヲ五十元ニテ吳百諾ヨリ買收セルコト

ニ在鄭州日本領事館カ該機關ヲ庇護シ居ルコト

該機關カ一切ノ文獻ヲ領事館ヲ通シ發送シ來リ且領事館

トノ間ニ電話ヲ架設シ今次支那側検査ニ先立チ領事館ヨ  
リ證據物件燒棄方ヲ通報セル事實ニ徴シ明カナルコト  
三、河南省黃河以北各縣ヲ自治區トスル計畫ヲ以テ吳百諾ヨ  
リ軍費、銃器ノ補助方ヲ日本側ニ請求セル原稿ヲ發見セ  
ルコト

四、該機關ハ土匪民團ト聯絡シ武器彈藥ヲ與ヘテ交通ヲ破壊  
シ治安ヲ攪亂セントスル企圖アルコト

ノ陰謀ヲ發見シタリト述ヘ更ニ右ノ外ハ反動的標語ヲ印刷  
配布シ謠言ヲ發シテ民衆ヲ惑ハシ且無線電信係ヲ設ケテ支  
那側ノ消息ヲ妨害或ハ傍受シ居タル旨記述シタル後今次ノ  
陰謀ハ條約及國際公法ニ違反シ支那ノ主權ヲ侵害スルモノ  
ナルヲ以テ支那政府ニ於テハ斷シテ容認シ難キニ付

(一)本事件關係者ノ嚴罰

(二)在鄭州日本領事ノ更迭

(三)居留民ヲシテ將來再ヒ此ノ種類似事件ヲ發生セシメサル  
様急告スルコト

(四)恣ニ支那各地ニ派遣セラレタル武官及私設ノ所謂特務機  
關ノ一律撤退

(五)陸軍武官ト僞稱セル増田ノ在留禁止方

至急御取計相成リ尙折返シ回答ヲ請フ旨申越セリ原文郵送ス

上海大使、北平、在支各總領事、鄭州へ轉電セリ  
上海大使ヨリ上海へ轉報アリタシ

195 昭和12年2月1日 在中国川越大使より  
有田外務大臣宛(電報)

鄭州事件を治外法権の侵犯として抗議したわ  
が方覚書に対し外交部反駁回答について

南京 2月1日後発  
本省 2月1日夜着

第七五號

本使發上海大使宛電報

第八二號

往電第六八號ニ關シ

張外交部長ヨリ三十日附公文ヲ以テ大要左ノ通り回答越セ  
リ

本件ハ曩ニ一月二十六日附照會ヲ以テ詳細申述ヘタル通り  
志賀カ天津軍ノ命ヲ受ケ鄭州文化研究所ノ名義ヲ以テ間諜

往電第一二號ニ關シ

外交部ハ四日附節略ヲ以テ「累次ノ密報ニ依レハ南京日本  
總領事館内ニハ大型無線電機二臺裝置シアリ中國各地電臺  
ノ電報ヲ接受シ居ル趣ナルカ電政機關ニ於テ偵査ノ結果該  
無電臺ノ呼出符號ハBMYニシテ毎日午前零時ヨリ三時迄  
及十時ヨリ午後十二時迄RTFト通報ヲ爲シ居リ波長ハ晝  
間ハ約二十九米夜間ハ約七十四米(時ニ依リ變更スルコト  
アリ)ニテ五字綴語ノ英文暗號ヲ使用シ係員ハ發電ノ際往々  
日本語ヲ以テ相互ニ談話ヲ交換スルコトアリ又午後發電ノ  
電報ニハ發電時間ノ後ニ總テ「S」ノ一字ヲ附加スル處右  
ハ日本無電臺ニ於テ從來「S」ノ字ヲ以テ午後ノ意味ヲ表  
ハシ來リタルト符合シ總領事館隣接地點ニ於テ真空管一個  
ノ檢波機及真空管三個ノ受信機ヲ以テ調査セル處受。聽。器。ノ  
震動烈シクclickノ發生甚タ大ナルカ右ハ距離甚タシク接  
近シ居ルカ爲ナリ同時ニ該電臺ノ通報開始及停止ノ際ニ於  
ケル發電機開閉ノ音モ明瞭ニ聽取シ得ラルル由ニテ以上ハ  
何レモ該總領事館内ニ無線機ノ設備ヲ有シ居ル證據ナリ外  
交部ニ於テハ曩ニ員ヲ派シテ支那側ニ於テ偵査シ得タル右  
電臺發出ノ電報寫ヲ日本大使館須磨書記官ニ提示シ直接右

機關ヲ設置シ支那ニ危害ヲ及ホスヘキ秘密工作ヲ爲セル證  
據歴然タリ又領事館カ常ニ右機關ヲ庇護シテ諜報ヲ取次キ  
支那側カ立會檢査ヲ要求セル際逸早く内報シテ證據湮滅ヲ  
爲サシメントシタルカ如キハ浪人ト勾結シタルモノトシテ  
是辯解ノ辭ナカルヘシ在鄭州地方官憲カ國家ノ安全ヲ保持  
シ地方ノ治安ヲ維持センカ爲執リタル措置ハ極メテ合理的  
ニシテ何等抗議ヲ受クル筋合ニアラス御來示ノ趣カ事實ト  
全ク相反スルハ本部長ノ頗ル遺憾トスル次第ナルニ付前回  
申入通り至急御措置相成リ尙満足ナル御回答相煩度シ  
原文等郵送ス

大臣、北平、天津、鄭州、漢口へ轉電セリ

196 昭和12年3月5日 在中国川越大使より  
佐藤外務大臣宛(電報)

南京總領事館における無電設備の迅速撤去を  
中国側要求について

南京 3月5日後発  
本省 3月5日夜着

第一六二號

電臺ノ撤去方要求シ須磨書記官ハ之ヲ承諾セルカ報告ニ依  
レハ該電臺ハ今日迄依然撤去セラレス

一月十三日ヨリハ其ノ呼出符號ヲRQTト改メ波長ハ晝間  
二十五米二十八米又ハ時ニ三十六米夜間ハ最初六十二米ナ  
リシカ現在ハ五十六米ト改メ依然通報ヲ繼續シ居リ同時ニ  
該電臺ト通報スル各電臺ノ呼出符號モ一齊ニ之ヲ改メ以テ  
傍受セラレサル様努メ居ル處該電臺ノ

(一)發電音調

(二)發信人署名

(三)作業ノ際使用ノ通信略號

(四)發信開始及停止ノ際ノ發電機開閉ノ音聲  
等ハ從前ト全然同一ナル趣ナリ

査スルニ國際電信條約ノ規定ニ依レハ無線發信電臺ハ所屬  
主管政府ノ特許アルニアラサレハ設置スルヲ得サルモノナ  
ルニ首都駐在ノ日本總領事館カ敢テ斯ノ如キ公約違反、主  
權侵略ノ行爲ヲ爲スハ甚タ奇怪ニシテ而モ既ニ一旦撤去ヲ  
承諾シ乍ラ尙之ヲ實行セス通報ヲ繼續シ居ルカ如キハ特ニ  
不都合ナリ茲ニ日本大使館ニ對シ右約諾ニ基キ速ニ之カ撤  
去ヲ實行シ以テ中國ノ電政ヲ重ンセラレンコトヲ要求ス尙

又日本同盟通信社及上海日本海軍陸戰隊ノ無電臺祕密設置ノ件ニ關シテモ累次公文申入ノ通り一併處理ノ上何分ノ回答ヲ得度キ旨申越セリ

上海大使、北平、在支各總領事へ轉電セリ  
上海大使ヨリ上海へ轉報アリタシ

197 昭和12年4月28日 在青島大鷹(正次郎)總領事より  
佐藤外務大臣宛(電報)

鐵道部による本邦商社を除外した機關車等購入計画に関する情報について

青島 4月28日後発  
本省 4月28日夜着

第一〇九號

本官發支宛電報

第七〇號

膠濟鐵路局柴田ノ内報ニ依レハ最近鐵道部ニ於テハ全支各鐵道ニ配給ノ目的ニテ曩ニ滿鐵ニ於テ落札セル機關車及貨車トハ別ニ機關車百輛、貨車千六百輛ヲ購入ノコトニ決定セルカ日本商社ニハ知ラセス内密話ヲ進メ居レル旨(右貨

車千六百輛中四百輛ハ佛商「マテリエル・テクニツク」ニ註文スルコトニ決定シ居レリトノ噂モアル由)確實ナル筋ヨリ聞込アリタル趣ナリ右眞偽不明ナルモ不取敢御參考迄大臣、北平、天津、上海、濟南へ轉電セリ

198 昭和12年5月2日 在中国日高臨時代理大使より  
佐藤外務大臣宛(電報)

江西省における領事裁判權撤廢請願運動の実情につき報告

南京 5月2日後発  
本省 5月2日夜着

第二九八號

九江發本官宛電報

第七號

大臣へ轉電アリタシ

第一二號

各地ノ領事裁判權撤廢請願運動ニ呼應シテ江西省ニ於テモ四月二十九日中央執行委員會及國民政府宛ニ民衆團體ノ名ヲ以テ各國公使ノ昇格ヲ行フ等競テ親睦ヲ圖リツツアル

此ノ際支那側ヨリ進テ自發的ニ領事裁判權ノ撤廢ヲ實行ス

ヘキナリトノ趣旨ノ通電ヲ發出シタル趣ナル處右ハ黨部邊ノ指金ニ依ルモノト認メラレ本件ハ當地方ニ於テハ未タ一般民衆ノ熱意アル運動トハナリ居ラスト思料セラル

支ヨリ北平、在支各總領事へ轉電アリタシ  
蕪湖、長沙、沙市、宜昌、重慶、鄭州へ轉電セリ

199 昭和12年6月4日 在中国日高臨時代理大使より  
広田外務大臣宛(電報)

同盟通信社による中国各地への無電設備設置を抗議する外交部覚書について

南京 6月4日後発  
本省 6月4日夜着

第三八二號(極秘)

客年南京發在上海大使宛第六四二號ニ關シ同盟通信社ノ無電機ニ關スル支那側抗議ニ對シテハ客年在上海大使宛貴電第二二三號ノ次第モアリ握潰ノ儘トナリ居ル次第ナル處外交部ヨリ再ヒ五月二十九日附節略ヲ以テ從來屢次ノ抗議ヲ繰返シ且「今般調査ノ結果同盟通信力天津、

濟南、青島、漢口、北平、廣東等ニ無電機ヲ設置シ居ルコ

トヲ確メ得タルニ付嚴重取締マラレ度ク結果回示アリ度シ」トノ趣旨ヲ詳細ナル調査表ヲ附シテ申出テタリ

本件ニ關シテハ既ニ東京及上海等ニ於テ御考究中ノコトトハ存スルモ支那側ノ執拗ナル態度ニ鑑ミ此ノ際我方トシテモ相當徹底シタル方法ヲ以テ臨ムノ要アリヤニ認メラルルニ付テハ至急御對策御考究ノ上本件抗議ニ對スル回答振ト共ニ御回示相煩度シ  
北平、在支各總領事へ轉電セリ

200 昭和12年6月4日 在中国日高臨時代理大使より  
広田外務大臣宛(電報)

中国各地への日本側による無電設備設置を外交部指摘について

別電 昭和十二年六月五日發在中国日高臨時代理大使より  
使より広田外務大臣宛第三八四号  
右指摘

南京 6月4日後発  
本省 6月4日夜着

第三八三號(極秘)

往電第三八二號ニ關シ

客月二十九日附外交部節略ニハ同盟無電臺ニ付テノミ述ヘアルモ右節略ニハ同盟無電臺ニ關スル調査表ノ外別電第三八四號北平等ニ於ケル日本電臺調査表ナルモノヲモ添付シ居リ從來支那側ヨリ抗議シ來リ居ラサル各地ニ於ケル無電臺ニ關スル調査ヲ掲記シ居レリ

右各地ニ於ケル無電臺ノ存在ハ支那人「ボーイ」等ヲ通シテ支那側ニ探知セラルルニ至リタルモノカトモ思考セラルルニ付各地ニ於ケル無電臺ノ使用ニ付テハ之カ隱蔽ニ今後一層ノ注意ヲ要スルコト勿論ノ儀ナルカ無電臺ノ使用亂用ハ支那ノ感情ヲ益々刺戟シ延テ在支各公館ノ無電妨害ヲモ盛ナラシムル惧アルニ付民間ノ無電使用ハ嚴重取締ルト共ニ居留民會、會社(上海宛往電第四三號參照)等ノ屋内ニハ無電臺ヲ設置セシメサルコト可然ト思考セラル本電別電ト共ニ北平、在支各總領事ニ轉電セリ

(別電)

第三八五號(極秘)

本官發天津宛電報

第二三號

外交部ヨリ五月二十六日附節略ヲ以テ「確ナル報告ニ依レハ天津海光寺。日本兵營内ニハ超短波一「キロワット」ノ無電臺二機設置セラレタル趣ナル處近來日本側カ支那各地ニ無電臺ヲ施設スルコト續發シ居リ同盟通信社、上海日本海軍陸戰隊、在南京日本總領事館ノ各電臺ニ付テハ既ニ交渉ヲ行ヒ日本側カ此ノ種違法設備ヲ撤去センコトヲ期待シ居ルモノナルカ右案件未タ處理セラレサルニ拘ラス天津日本兵營カ更ニ大規模ノ無電臺ヲ設置スルカ如キハ中國主權ノ侵害ニシテ甚タ遺憾ナリ依テ茲ニ嚴重注意ヲ喚起スルニ付在支私設無電臺ハ期限ヲ限リ一律撤去セラレ度ク何分ノ回答アリ度シ」トノ趣旨ヲ申越セリ

就テハ海光寺兵營内ニ無電機設置セラレタル事實ノ有無並ニ若シ事實ナリトセハ北平ニ於ケル各國駐屯軍ノ無電臺ト同様團匪議定書ニ基ク駐兵權ニ附帶スル當然ノ權利ナリト説明スヘキモノナルモノナリヤ否ヤ其ノ他參考トナルヘキ事項ト共ニ御回示相成度シ

南京 6月5日前發

本省 6月5日前着

第三八四號(極秘)

北平等ニ於ケル日本電臺調査表

(イ)北平三條胡同(日本居留民會設置、報務員三人)

(ロ)廣東沙面佛租界日本領事館三樓(日本領事館設置、報務員田中、橋本、譯電。秘書藤井)

(ハ)廣東英租界九〇號三樓(日本陸軍々人設置、報務員櫻井、島田、益田)

(ニ)廣東英租界八七號二、三樓(日本海軍軍人設置、電臺主任、阿部、報務員羽立、吉岡)

(ホ)青島湖南路一四號日照路。曲角構内、(日本軍人設置)

201 昭和12年6月4日 在中國日高臨時代理大使より  
広田外務大臣宛(電報)

天津の日本軍兵營内における無電設備設置を  
抗議する外交部覚書について

南京 6月4日後發  
本省 6月5日前着

大臣、北平、上海へ轉電セリ

202 昭和12年6月9日 在中國日高臨時代理大使より  
広田外務大臣宛(電報)

抗日のために中国国民の一致団結を激励する  
内容の映画上映に対し速やかに適当対処する  
よう外交部へ要求について

南京 6月9日後發  
本省 6月10日前着

第四〇五號

目下當地一流ノ映画館新。都。大。戲。院。ニ於テ「パラマウント・ニュース」トシテ「時代進展」ト題スル排日色彩濃厚ナル映畫上映セラレ居ルヲ發見セリ右ハ英語ノ「トーキー」ニ支那文ノ説明ヲ附シタルモノニテ映寫時間約二十分、其ノ目的ハ主トシテ蔣介石カ十年前北伐ヲ開始シテ以來遂ニ中國統一ヲ完成シタル偉大ナルコトヲ宣傳シ且上海カ支那近代商工業發展ノ「シンボル」ナルコトヲ示シテ經濟建設ニ對スル興味ヲ喚起スルト共ニ排日抗日ノ爲ニ國民ノ一致團結ヲ激勵スルニアル如ク其ノ内容ハ大部分古キ「ニュース・

リール」ヲ巧ニ繼合セタルモノナル處日本カ滿洲ヲ侵略スルヲ地圖ニテ示ス場面、上海海軍陸戰隊カ出動スル場面、我陸軍カ野砲ニテ砲撃スル場面等ヲ映シテ極メテ排日的ナル英語ノ説明ヲ加ヘ我新議事堂ノ全景及廣田首相演説ノ場面ヲ示シテ「日本カ中國ヲ侵略スル大本營」ナル支那文説明ヲ附シ蔣介石カ軍隊ニ向テ演説スル光景ヲ示シテ「近ク必ス敵國ニ勝ツノ日アリ」トノ意味ノ説明ヲ掲クル（此ノ時觀客大喝采ヲ送ル）等極メテ面白カラサルモノアリ

依テ九日館員ヲシテ外交部係官ニ對シ右ノ點ヲ詳細指摘シ本件映畫ヲ即時撤去スルカ其ノ不都合ナル部分ヲ全部削除セラレ度ク尙他ノ各地ニ對シテモ同様ノ措置ヲ執ラレ度キ旨申入レシメタル處先方ハ全然事實ヲ承知セサリシニ付早速取調ノ上適當ノ手配ヲ致スヘシト答ヘタル趣ナリ

北平、在支各總領事、香港ヘ轉電セリ

203

昭和12年6月10日

在中国日高臨時代理大使より  
広田外務大臣宛（電報）

中国各地官憲の本邦人に対する庄迫事件防止  
のため当該官憲とわが方領事館の意思疎通を

増加や鉄道技術での協力が日中国交改善に資  
する旨を張公権へ説示について

南京 6月10日後発  
本省 6月10日夜着

第四〇九號

本官十日張公權ト會談ノ要領左ノ通り

一、本官ヨリ支那鐵道建設ノ進展ニ伴ヒ之ニ要スル相當多量ノ材料ヲ外國ニ仰ク必要アル模様ナル處之カ購入ニ當リテハ少クモ我方商人ヲ除外スルコトナク寧ロ進ンテ我國ニ注文スル位ノ態度ヲ以テ臨マレ度シ之ヲ支那側ニ於テ言フモ優良ニシテ且廉價ナル我國ノ製品ヲ用フルコトハ極メテ有利ナル次第ナルカスル政治問題ノ附隨セサル純商業的場面ニ於テ日支ノ提携ヲ圖ルコトハ此ノ間ニ立ツ我方實業家方面ヲシテ先ツ國民政府ニ對スル信賴ノ念ヲ起サシメ斯ル取引ノ増加ハ自然的且有效ニ兩國國民間ノ感情ヲ和ケ延イテ國交改善ニ資スルコト大ナルヘシ又鐵道建設技術ノ方面ニ於テモ我國ノ鐵道技術ハ近年來著シク發達シ居ルニ付今後ハ兩國技術者モ出來得ル限り相往來シ其ノ進歩向上ヲ圖ルコト賢明ナリ鐵道建設五箇年計

図るよう蔣作賓内政部長へ要請について

南京 6月10日後発  
本省 6月10日夜着

第四〇七號

蔣作賓北支各省内政視察ヲ終リ七日歸任セルニ付本官九日往訪往電第三六五號何應欽ニ對シ爲セル申入ト略同様汕頭事件等ノ例ヲ舉ケ支那地方官憲特ニ警察當局ニ於テ我居留民ヲ壓迫シテ事件ヲ激發シ或ハ旅行者ニ對シ不當ナル監視ヲ加ヘテ不快ノ念ヲ起サシムルカ如キハ日支國交上ハ勿論支那自身ニ取リテモ百害アリテ一利ナキ次第ヲ述ヘ且是等官憲カ我方領事館ニ對シ信賴ノ念ヲ以テ相接シ不斷ニ意思ノ疏通ヲ圖ルコト肝要ナル旨ヲ告ケ中央政府ノ注意ト監督トヲ要求シタル處蔣モ同感ノ意ヲ表シ各地ニ面白カラサル衝突事件ヲ惹起セシメサル様相互ニ努力致度シト答ヘタリ

北平、在支各總領事ヘ轉電セリ

204

昭和12年6月10日

在中国日高臨時代理大使より  
広田外務大臣宛（電報）

中国側のわが国鉄道材料排斥問題に関し取引

畫中ニハ福建ヲ縦貫スル鐵道ノ如キヲモ含ミ居ル趣ナルカ我方ハ之ニ對シ重大ナル關心ヲ有シ居ル次第ニテ鐵道部カ率先日本ノ援助ヲ得テ之カ建設ニ當ルコトヲ期待シ居ルモノナリト告ケタリ

二、右ニ對シ張ハ鐵道建設ニ關スル日支提携ハ素ヨリ希望ス

ル所ナルモノ之ニハ矢張り國民的感情カ前提條件ナルヲ以テ此ノ意味ニ於テ政治ト關係アリ若シ兩國々民ノ感情融和スレハ商業的、技術的ノ提携ハ何等ノ問題ナク實現スヘシト答ヘタルニ依リ本官ハ右ハ寧ロ逆ニシテ先ツ鐵道ノ如キ政治ト縁ノ遠キ方面ニ於テ着々提携ノ具體的事實ヲ示スコト先決問題ナリ之ハ素ヨリ蔣介石始メ國民政府首腦部ノ肚ノ問題ナルカ萬一支那側ニ於テ日本ト國交改善ノ必要ナシト斷定セラルルナレハ議論ノ餘地ナキモ若シ之ヲ希望スルトセハ當然前述ノ如キ有效ナル途ヲ擇フヘキ筈ナリト述ヘ置キタリ

三、最後ニ膠濟鐵道「レール」購入問題ニ關シ本官ヨリ同鐵道ニ對スル我方特殊の立場ニ鑑ミ日本製品ノ採用ヲ考慮方要望シタル處張ハ未タ内容ヲ聞キ居ラサルニ付調ヘタル上充分考慮スヘシト答ヘタリ

北平、在支各總領事へ轉電セリ

205 昭和12年7月3日 在中国日高臨時代理大使より  
広田外務大臣宛(電報)

日滿独航空連絡の時期尚早な状況および日中  
航空連絡に対する中国側の熱意なき対応振り  
につき報告

南京 7月3日後発  
本省 7月4日前着

第四七〇號

貴電第七六號ニ關シ(日滿獨航空問題ニ關スル件)

日支航空問題ニ關シテハ本官着任早々機ヲ見テ各方面ノ意  
嚮ヲ當リ見タルモ一向手應ナキ次第ハ上海發往電第二八一  
號報告ノ通りナル處冒頭貴電御訓令接到後先ツ歐亞聯絡問  
題ニ關スル關係方面ノ情勢竝ニ意嚮ヲ探ルコト肝要ト思考  
セラレタルニ付六月十一日上海ニ於テ李景樞ニ當リ見タル  
處「ルフトハンザ」機飛來問題ニ關スル應答振(上海發往  
電第三七〇號)其ノ他ニ徴シ歐亞聯絡ニ關スル日滿獨ノ話  
合ニ關シ承知シ居ラサル様見受ケラルル一方歐亞公司ニ於

## 2 中国関税問題

206 昭和11年1月23日 在南京須磨總領事より  
広田外務大臣宛(電報)

輸入税率引上げを検討中であるが日本側が密  
輸入防止に協力するならば引上げ中止を考慮  
するとの孔祥熙内話について

南京 1月23日後発  
本省 1月24日前着

第三九號

往電第二二號ニ關シ

二十三日孔祥熙ニ對シ從來ノ我方主張ヲ繰返スト共ニ輸入  
税モ禁止の高率ニ達シ居リ此ノ上ノ引上ハ稅收ヲ却テ激減  
セシムル次第ヲ述ヘタルニ孔ハ實ハ貴方再三ノ申入モアリ  
今日迄引上實行ヲ差控ヘタルモ事實增收ノ爲大體三月頃ヨ  
リ實施ノ外無カルヘキカ時期ハ實ノ所未定ナルモ若シ日本  
側ニ於テ密輸入防止ニ付御協力セラルルニ於テハ考慮ノ餘  
地アリトテ例ニ依リ砂糖、人絹、紙類等ノ大量密輸北支ヨ  
リ公然行ハレ居レリト實例ヲ述ヘ居タルカ本官ヨリ從來ノ

テ最近北平、香港線開設等ニ氣ヲ強クセルモノカ歐亞乃至  
福岡・上海間ノ聯絡問題ニ付テモ一向氣乗スル模様ナク又  
獨逸參事官トノ會談(往電第四一九號)ニ於テモ獨逸出先官  
憲ハ本件ニ關シ餘リ知ル所ナキ様見受ケラレ右ノ點ハ更ニ  
確メ度ク存シ居ルモ此ノ際等は等方面ト相呼應シ支那側トノ  
間ニ本問題ニ關スル話合ヲ爲スハ時機尙早ト認メラル  
福岡・上海線ニ關シテハ前記李ニ對スル外其ノ後高宗武  
(六月十七日)及徐謨(六月二十六日)(三十日發往電第四四  
〇號)ニ對シ從來ノ經過ヲ追ヒ此ノ際本件協約締結方協議  
スルコトハ北支ニ關聯スル問題ノ解決ニ資スル所アルヘキ  
ヲ匂ハセ種々探リヲ入レ見タル處高ハ單ニ研究スヘシト答  
ヘ一向氣乗リセス徐謨ハ例ニ依リ理窟ヲ竝ヘテ耳ヲ傾ケサ  
ル有様ナリ  
最近支那側ノ態度ハ各種懸案ヲ解決シテ日支ノ國交改善ニ  
資スル熱意ヲ缺クヤニ認メラル本件ニ關シ最モ利害ヲ有ス  
ル李スラ前記ノ如キ消極的態度ヲ示ス有様ナレハ更ニ先方  
ト接觸シ徐々ニ開談ノ機ヲ窺ヒ居ル次第ナリ  
以上今日迄ノ經過不取敢  
上海へ轉電セリ

207 昭和11年1月30日 在中国有吉大使より  
広田外務大臣宛(電報)

中国関税収入の減少は内外債支払いにも不足  
するほどで輸入税率引上げが不可避との海關  
關係筋よりの情報について

上海 1月30日後発  
本省 1月30日夜着

第五八號

商務官カ海關方面ノ確カナル筋(客年十二月九日附商務官  
發貴大臣宛商機密第三八六號等ト同一ノ筋)ヨリ得タル情  
報ニ依レハ本年一月ノ關稅收入ハ内外債支拂等ノ支出ニモ